

2023年5月22日)

誰もが輝く持続可能な茨城を担う人づくり調査特別委員会

少子化問題の背景

国立社会保障・人口問題研究所

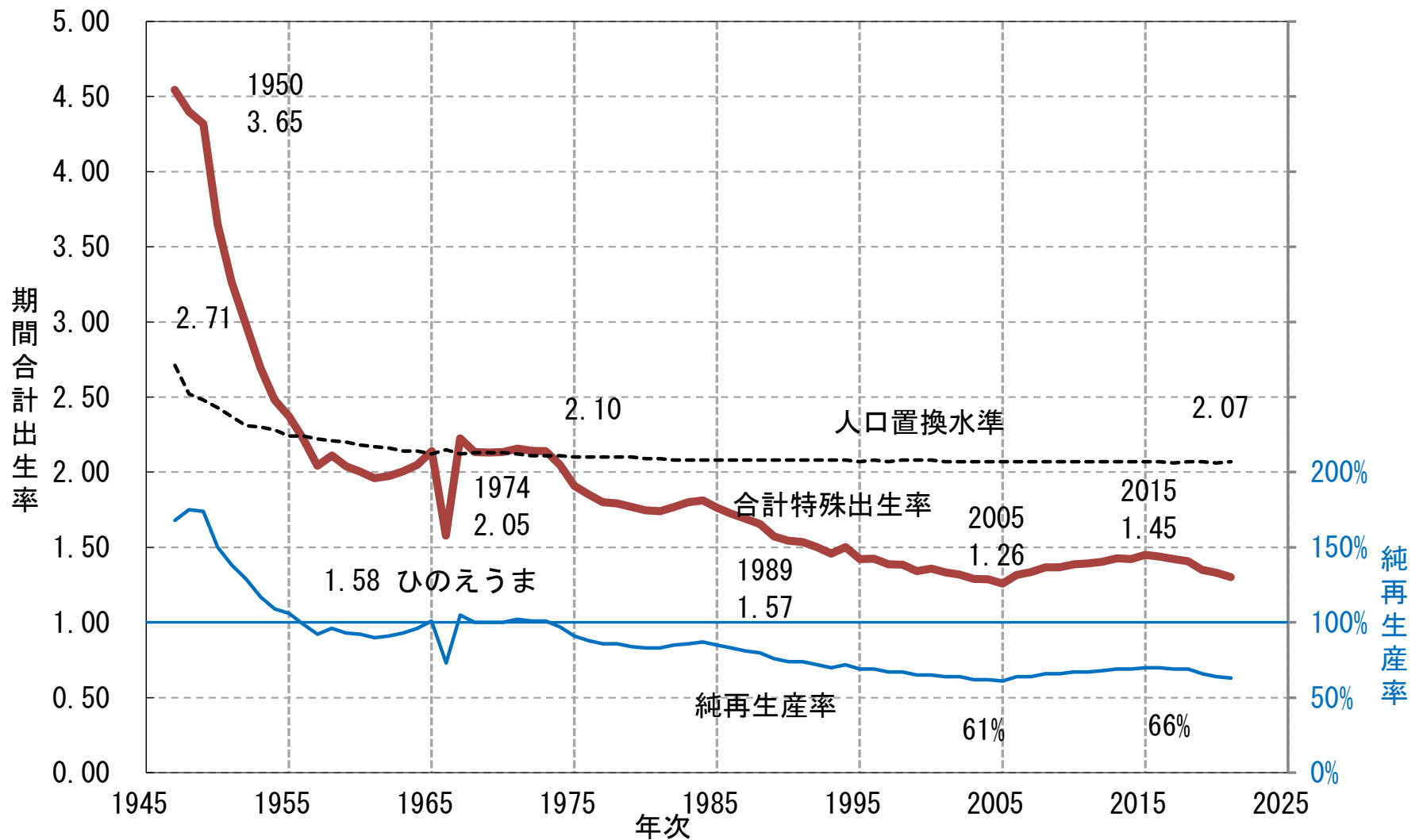
人口動向研究部長

岩澤美帆

少子化の定義

- 少子化とは、出生力が中長期的に人口規模を維持できる水準を継続的に下回っている状態。
- どう判断するのか？
 - 合計特殊出生率が2.07を下回ることが長期にわたって続いているか。
 - 日本は1970年代後半から、50年以上ににわたり「少子化」状態
- ただし、近年では、出生力（出生行動）のみならず、出生数の継続的減少が進み、社会的インパクトが大きくなってきている。
- 出生率と出生数、そして生む世代の人口に目を向ける必要。

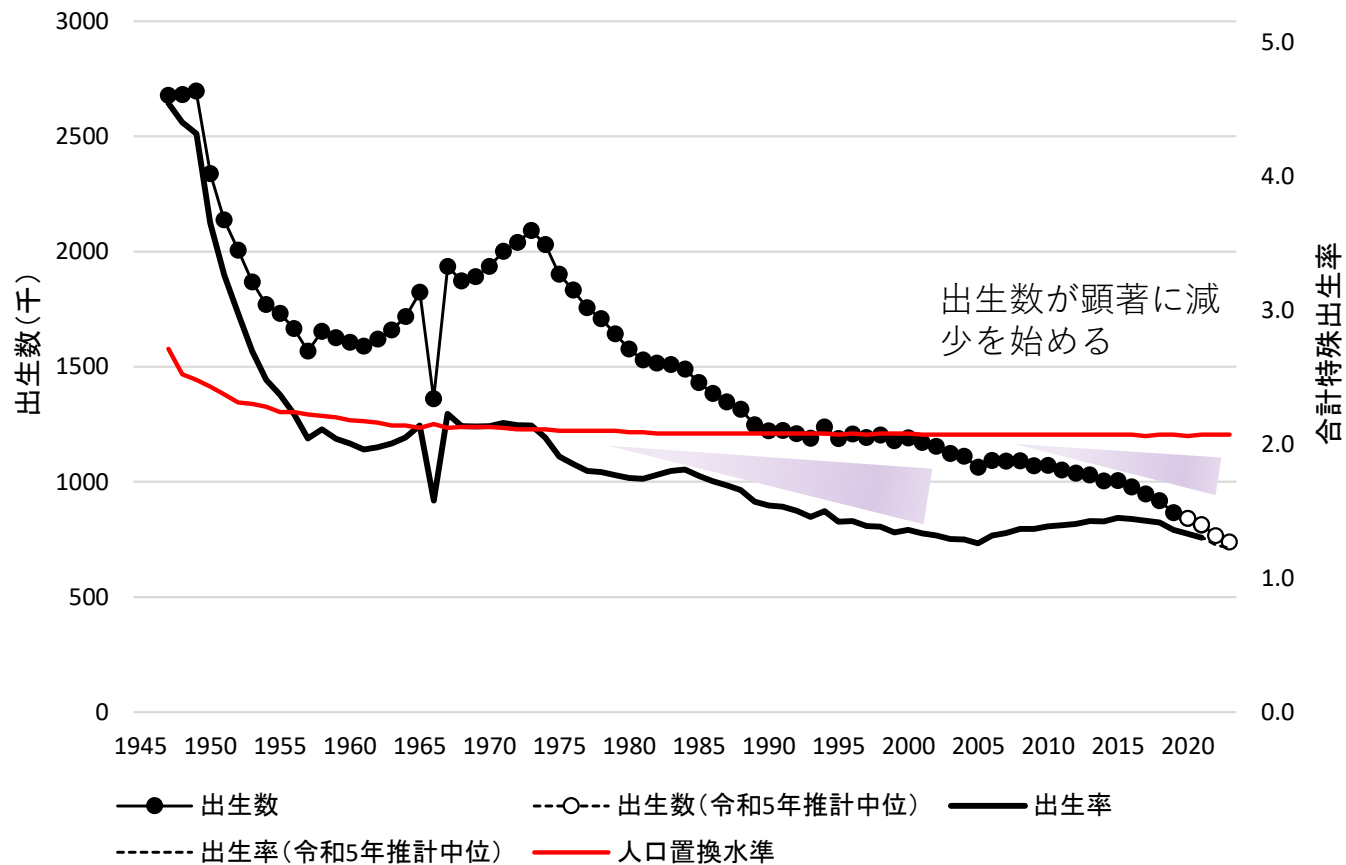
合計特殊出生率と人口置換水準



人口置換水準 $2.07=2.05$ （男児は女児より5%多く生まれる。1人の女性が女性1人を産むためには2.05人産む必要） $+0.02$ （50歳までに亡くなる女性を補完するため必要）

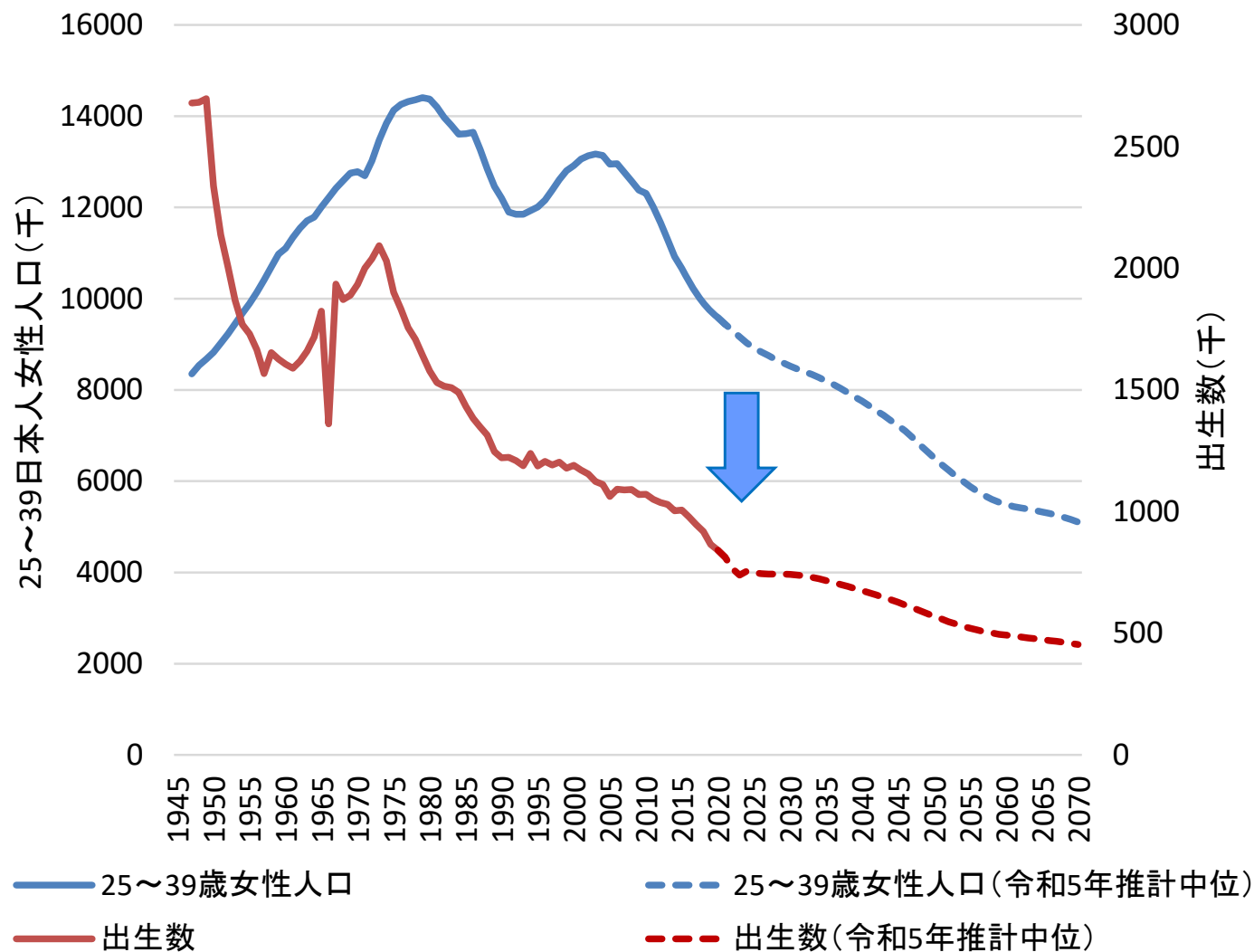
出生率だけ見ればよいのか？

- 2000年頃までは、置換水準を下回る出生率の低下が認識されてはいたものの、出生数の減少は緩やかで、「少子化」の問題が意識されづらかった。
- 2000年以降、出生数が減少し、社会への影響が顕在化。
- 出生数の動向が社会変化を考える上で重要に。



なぜ出生数が減少していくのか

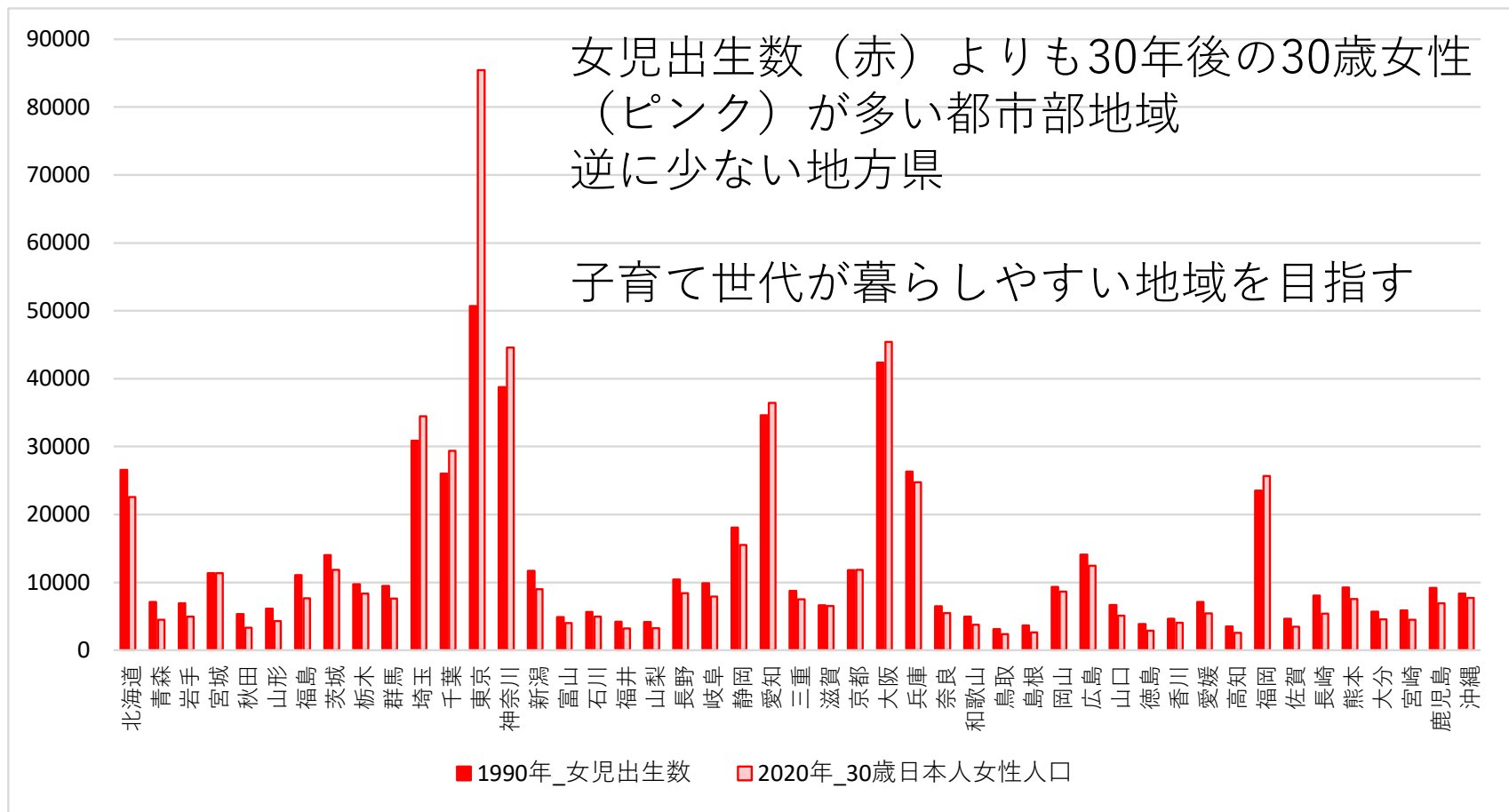
- 出生数は子ども産む年齢層の女性の数とその女性の子どもの産み方で決まる。
- 女性の人口は今後一貫して減少する見込み。従って出生も減少。



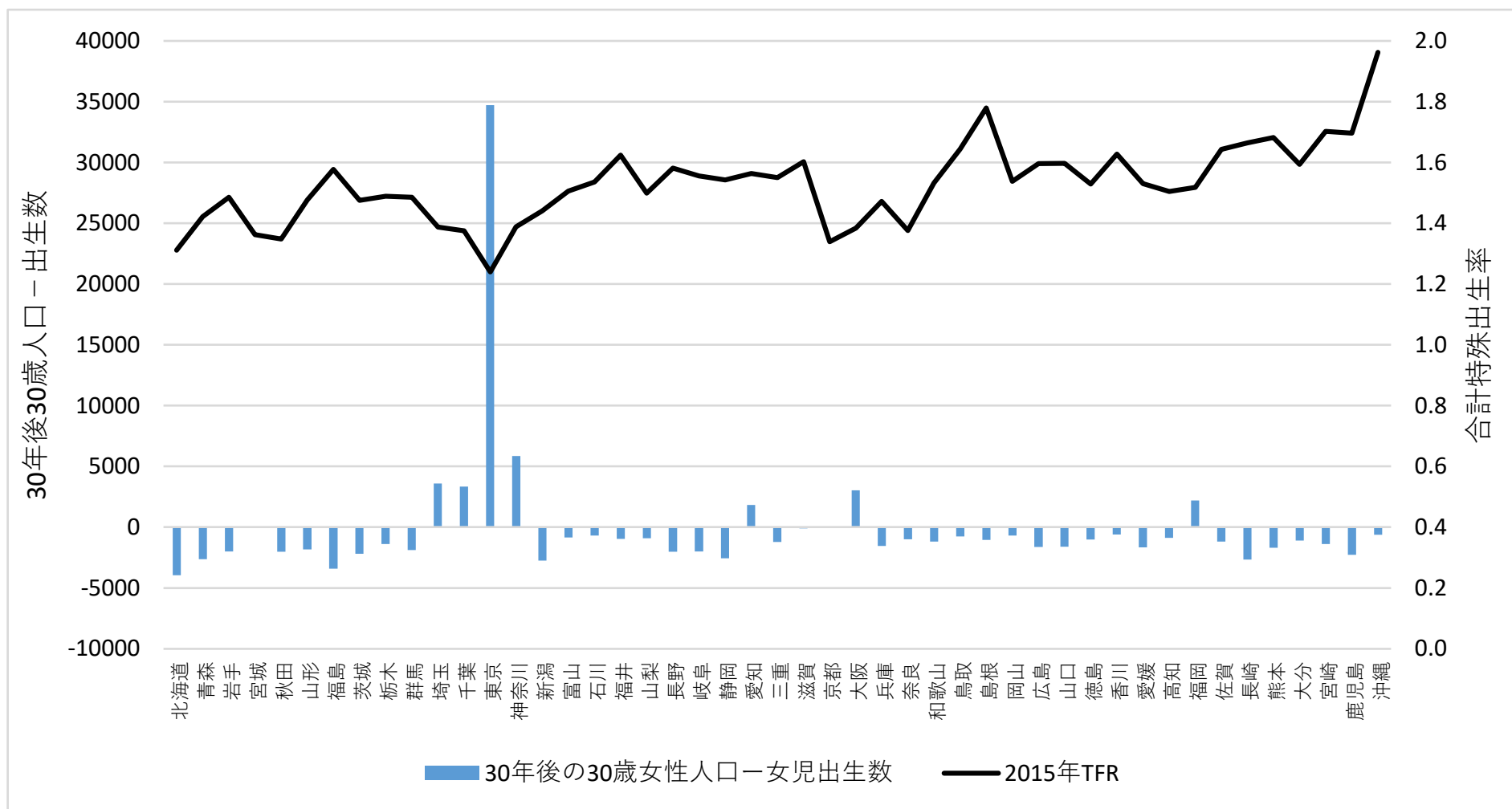


では、子どもを産む女性の数はどう決まるのか

- 30年前の女児出生数が30年後の子どもを産む女性の数
- しかし人口移動によって増減する



地方で生まれた女性の一部が30年後、首都圏に。
しかし、そこは低出生率。



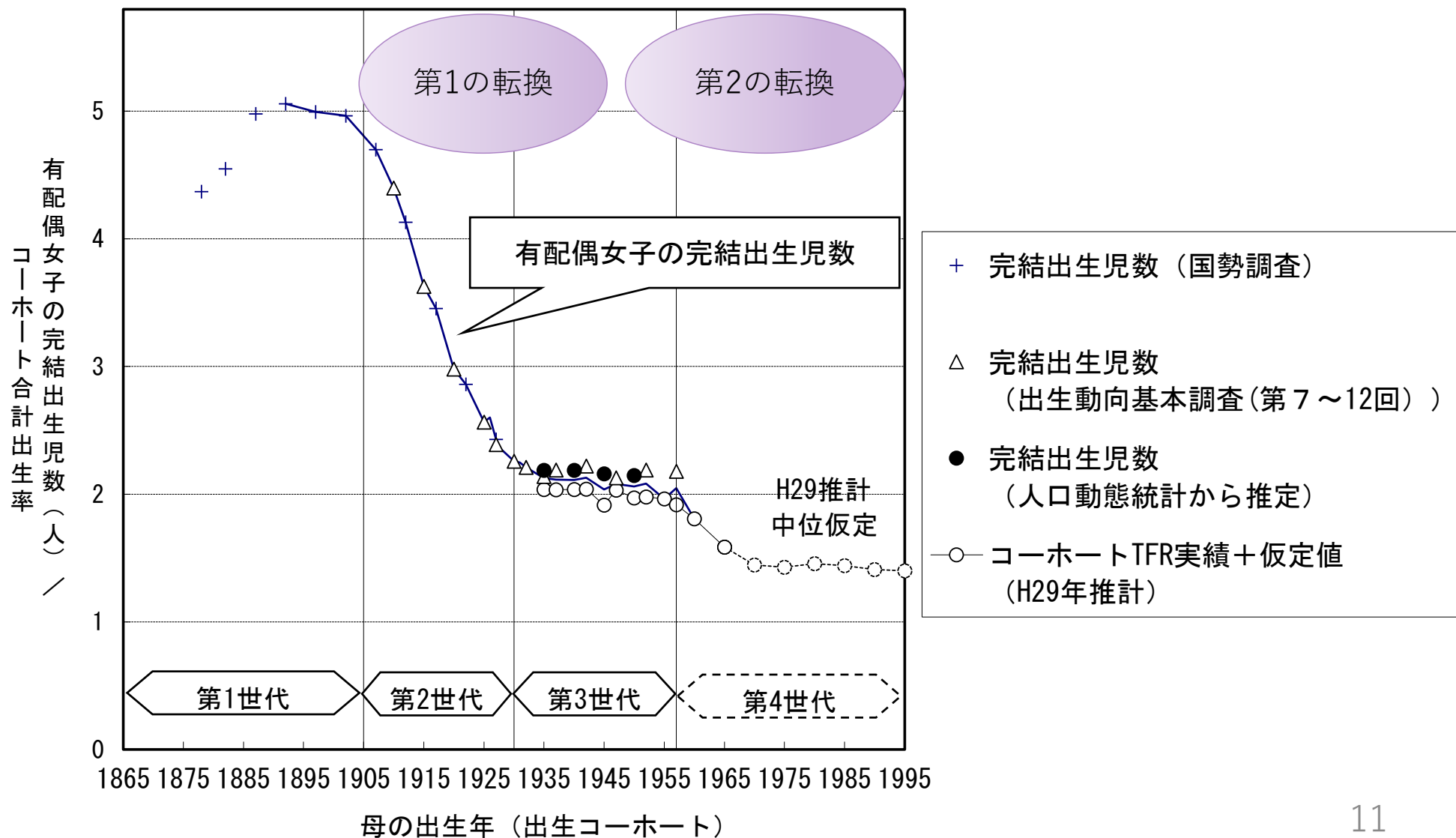
少子化の定義の見方：まとめ

- 少子化は、出生率が人口を維持できる水準を長期的に下回っている状態。
- 人口規模などが異なる社会の出生力を比較するため、合計特殊出生率が使われる。
- 合計特殊出生率が2.07を下回ると、人口は減少。
(仮に突然2.07に回復しても、人口減少が止まるのは数十年後であることに注意)
- 近年は、子を産む世代の女性人口の減少が始まり、出生数減に寄与。加えて、地方から出生率が低い首都圏などに女性が移動している。

少子化はなぜ起きたのか

女性1人当たりの出生数の減少は二段階で起きている (5人から2人へ、2人から1.5人へ)

コーホート合計出生率



二段階の出生力低下

- 一段階目の出生力低下の背景
 - 性別役割分業（主婦化）、二子規範

経済成長

子どもへの投資

避妊・中絶
多子の減少

- 二段階目の少子化の背景
 - 二段階の男女平等
 - 前期男女平等
 - 社会活動での男女平等→超少子化
 - 後期男女平等
 - 家庭内での男女平等→緩少子化

経済低成長

価値観の変化
(個人化、自己実現)

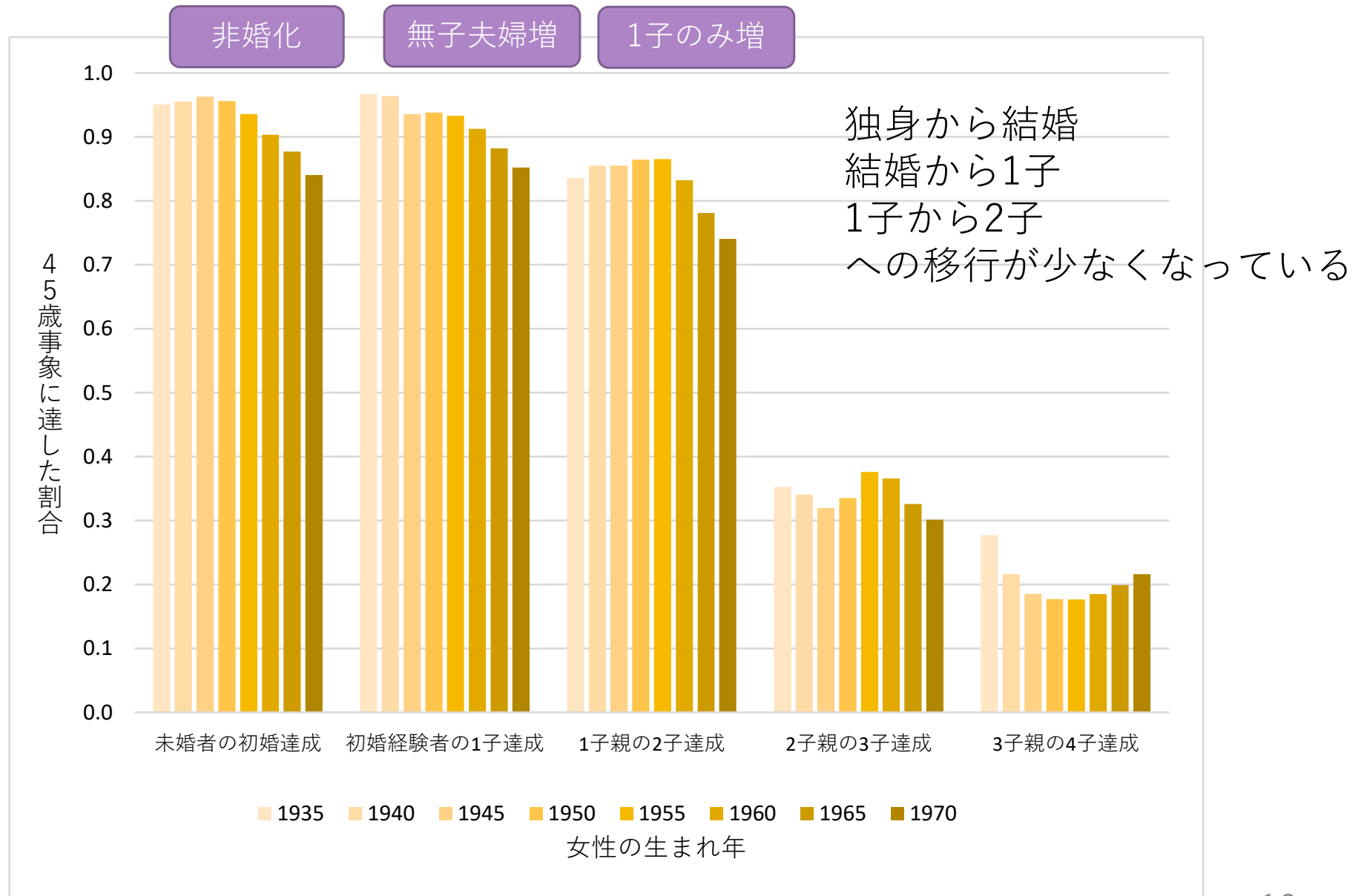
晩婚・非婚・離婚

予定子ども数の
未達成

東アジア特有の困難

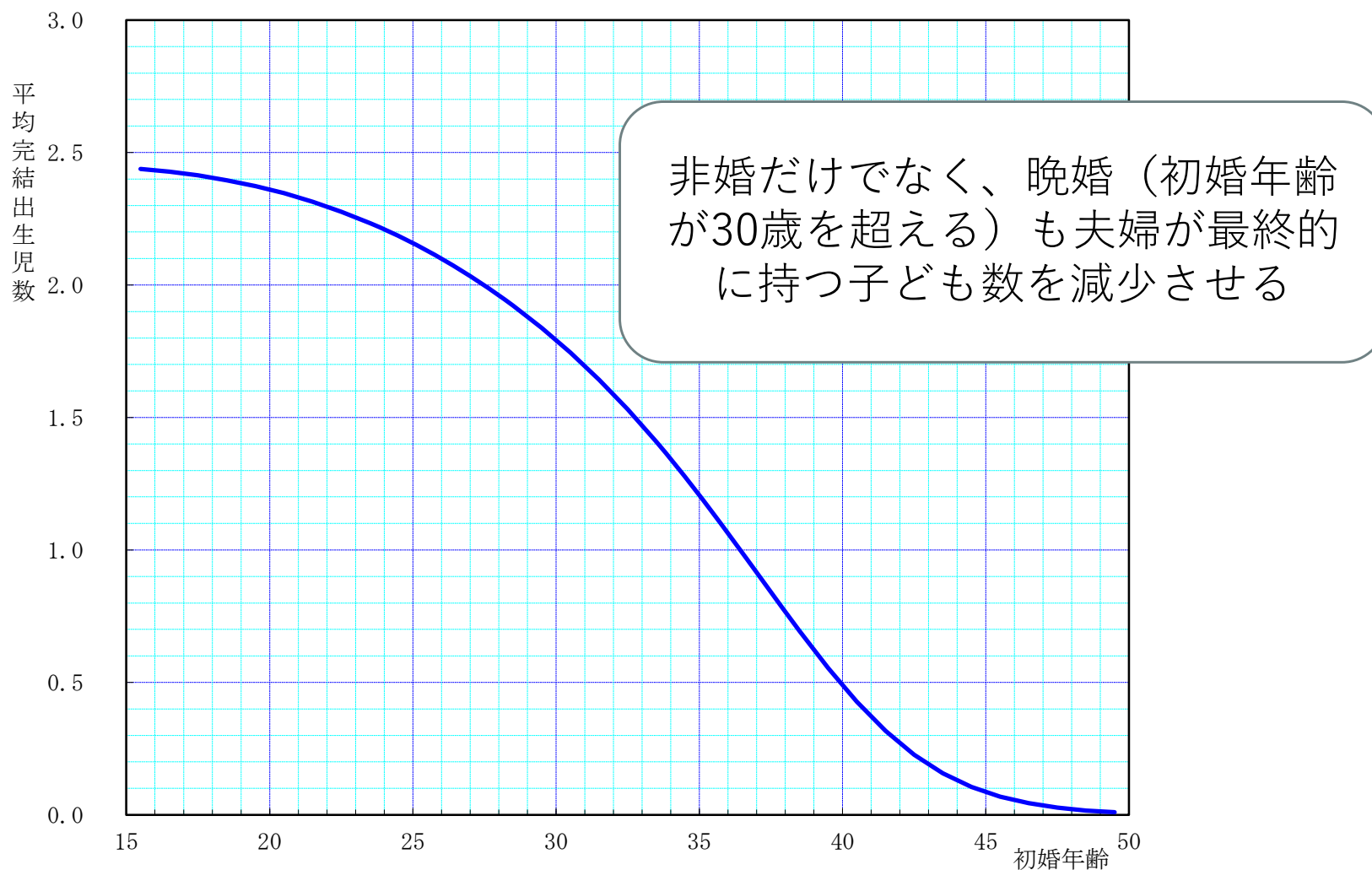
ジェンダー平等未達成（性別分担意識）、婚姻制度重視、住宅難、
成功児指向（競争的教育）、意欲の低下（結婚、出産ばなれ）

女性の生まれ年別にみた、直前の事象経験者のうち各事象に達した割合（45歳時履歴に基づく経験事象拡大率）



初婚年齢が30歳の女性の最終的な子ども数は平均1.75

初婚年齢別にみた平均完結出生児数

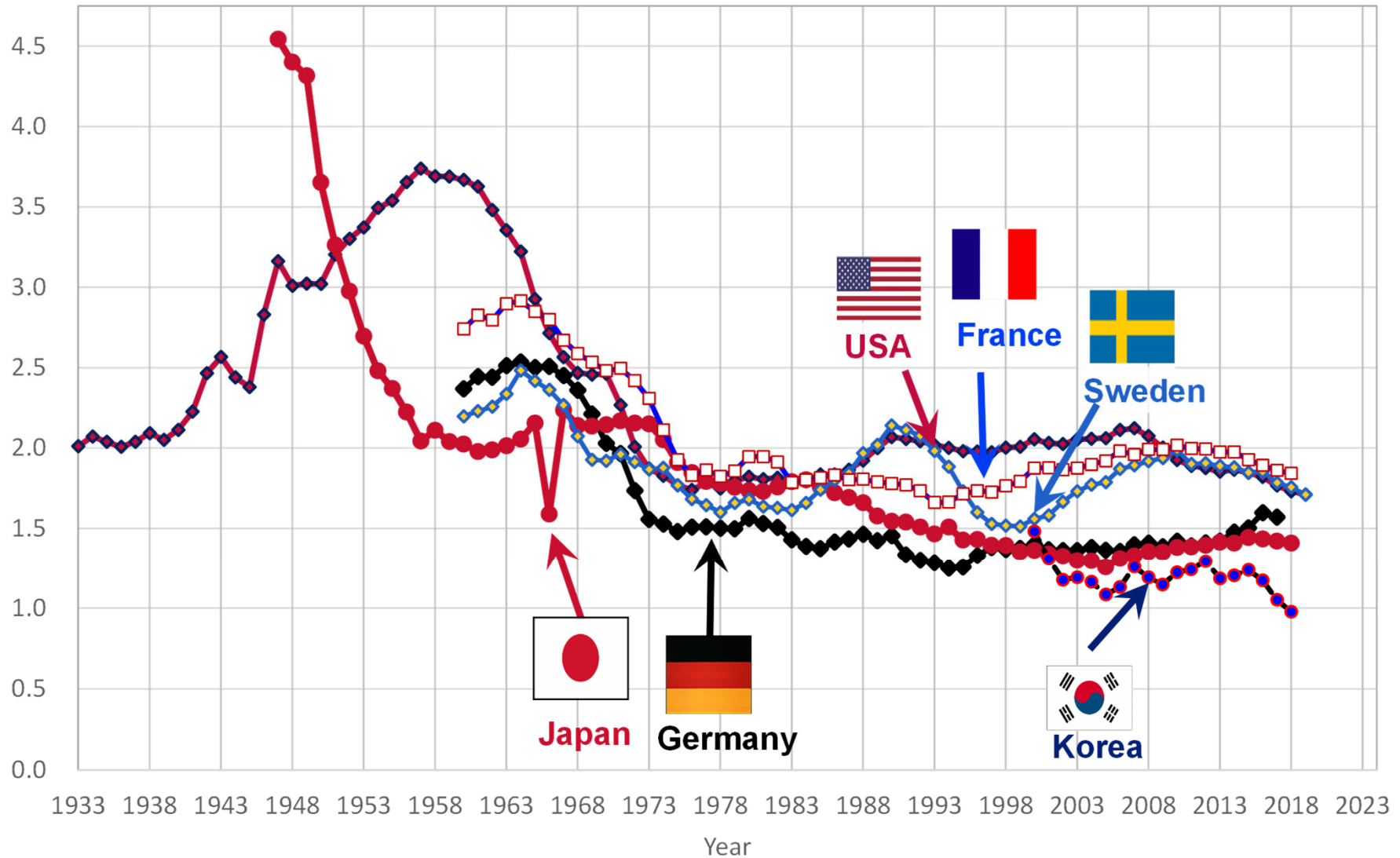


なぜ日本の子育てが困難なのか

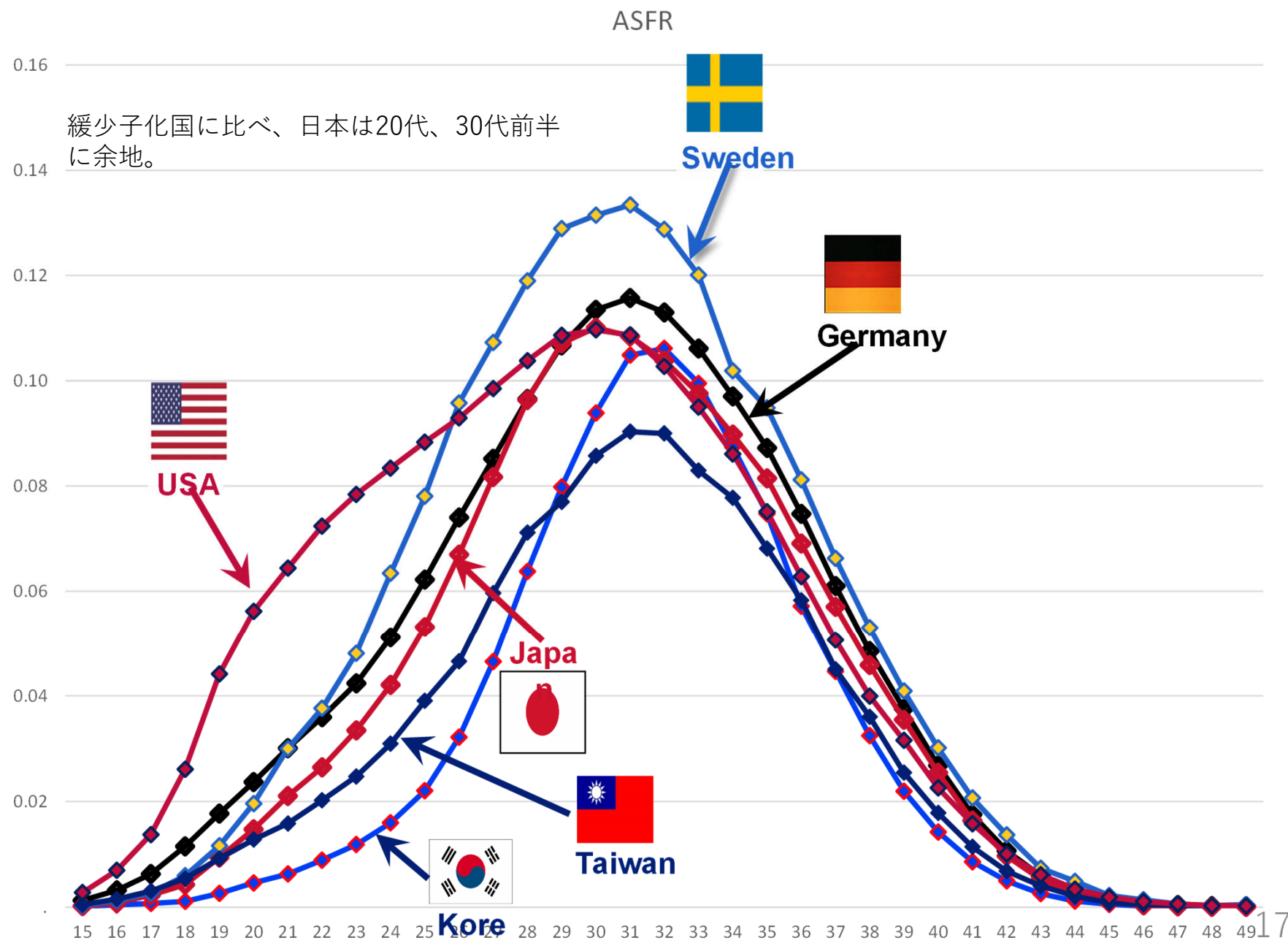
「少子化社会に関する国際意識調査」（内閣府子ども・子育て本部）より
日本、フランス、ドイツ、スウェーデンの比較

日本および諸外国の合計特殊出生率

Total Fertility Rates_All



日本および諸外国の年齢別出生率 (2017, 全子)

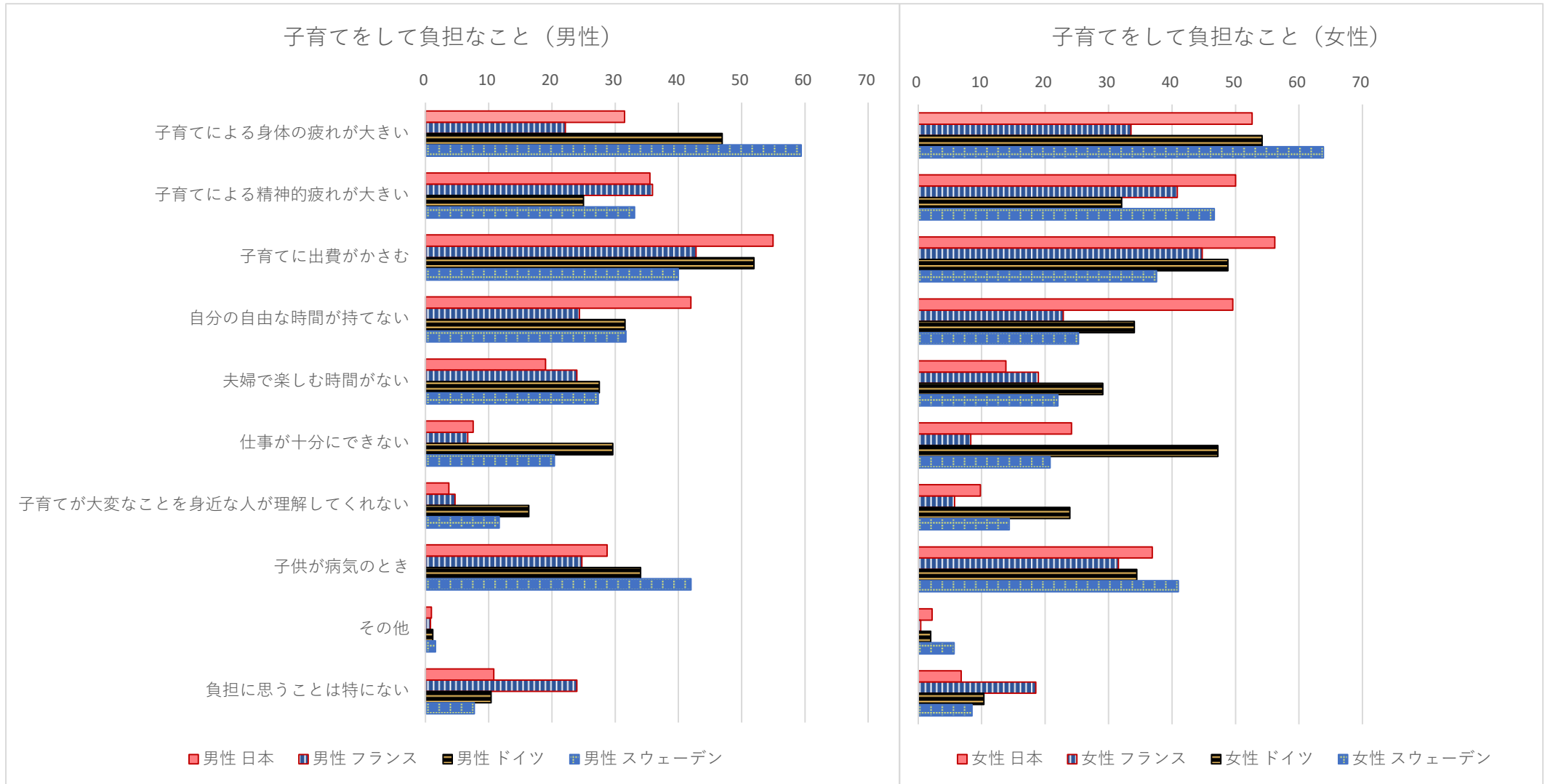


日本の相対的特徴（フランス、ドイツ、スウェーデンと比較して）

- 子育てに対して、コストが高い、自由時間がないとのイメージが多い
- 希望の子ども数を達成できていない（結婚が遅い）
- 希望は「家庭・個人生活を優先」、現実には「仕事を優先」になっている
- 日本は男性は仕事優先、女性は子育てに仕事を合わせる。スウェーデンは男性も女性も子育てに仕事を合わせる。
- 労働時間が長い（男性50時間以上、女性30時間未満
3ヶ国：共に30時間～40時間台）
- 緊急時の子どもの世話が、祖父母しかいない（他の国は友人、きょうだい、ベビーシッター、保育所など選択肢）

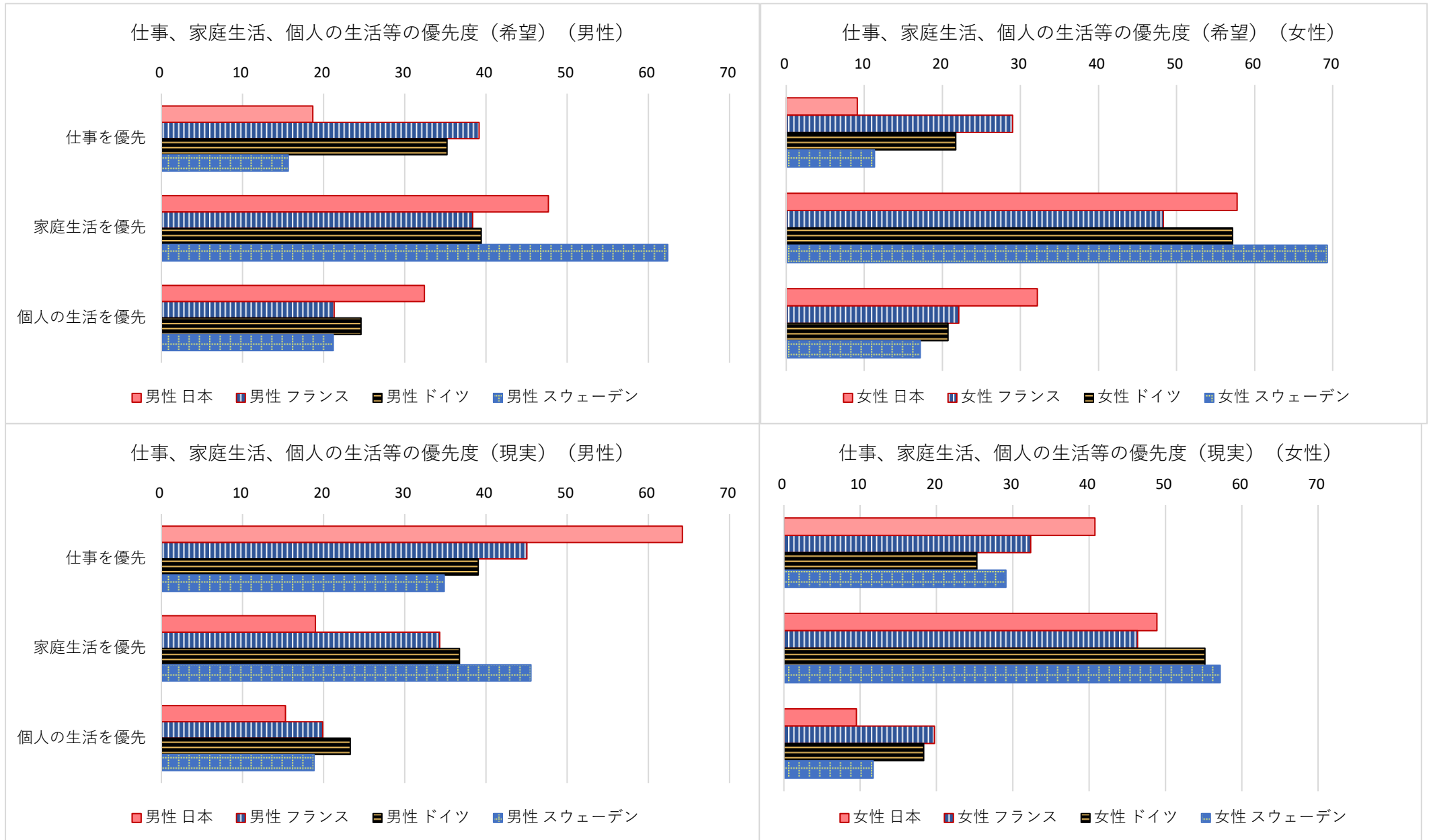
「少子化社会に関する国際意識調査」（閣府子ども・子育て本部, 2021

子育て負担感：出費と自由時間のなさ



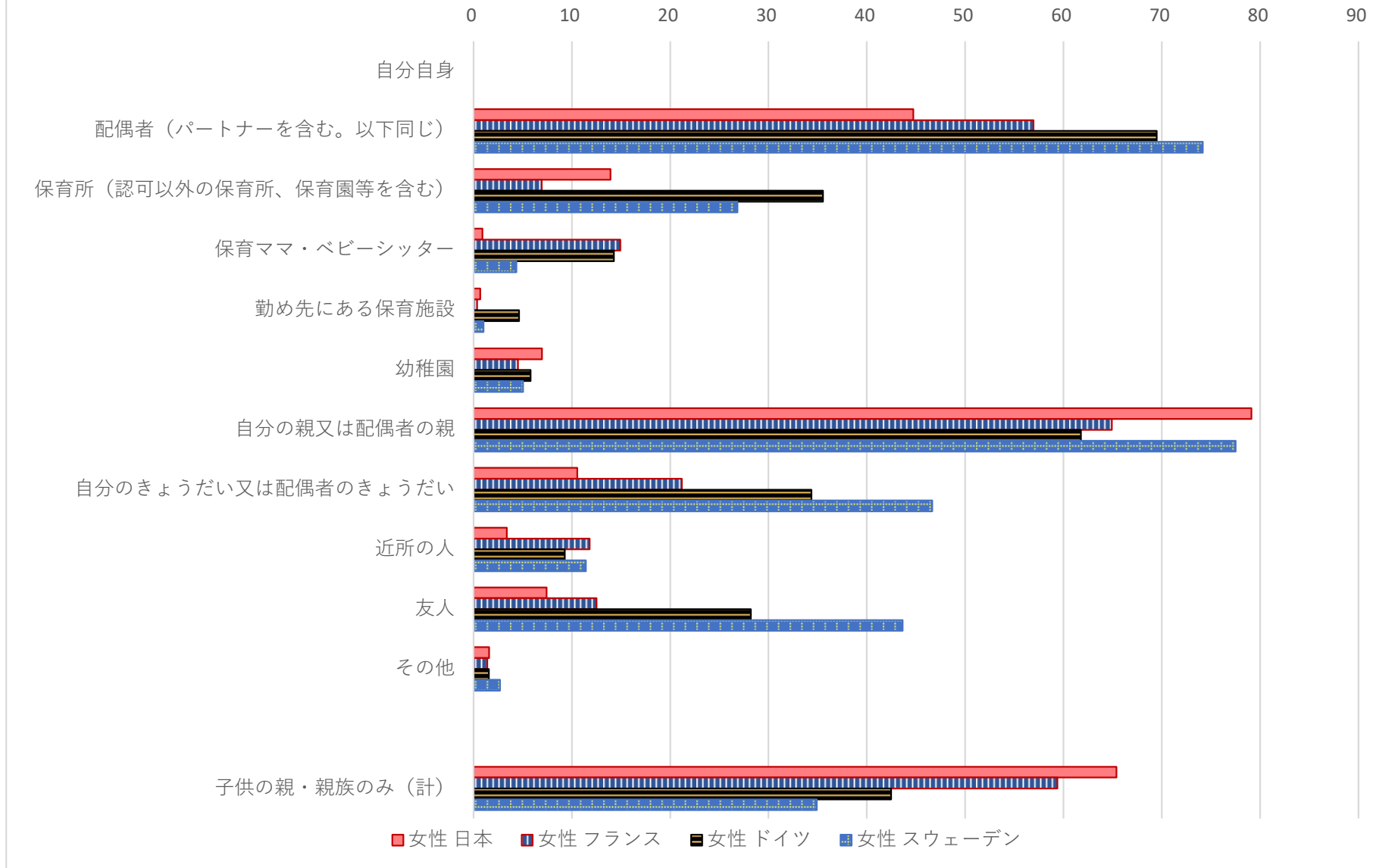
「少子化社会に関する国際意識調査」（閣府子ども・子育て本部, 2021）

希望は「家庭・個人生活を優先」 現実には「仕事を優先」



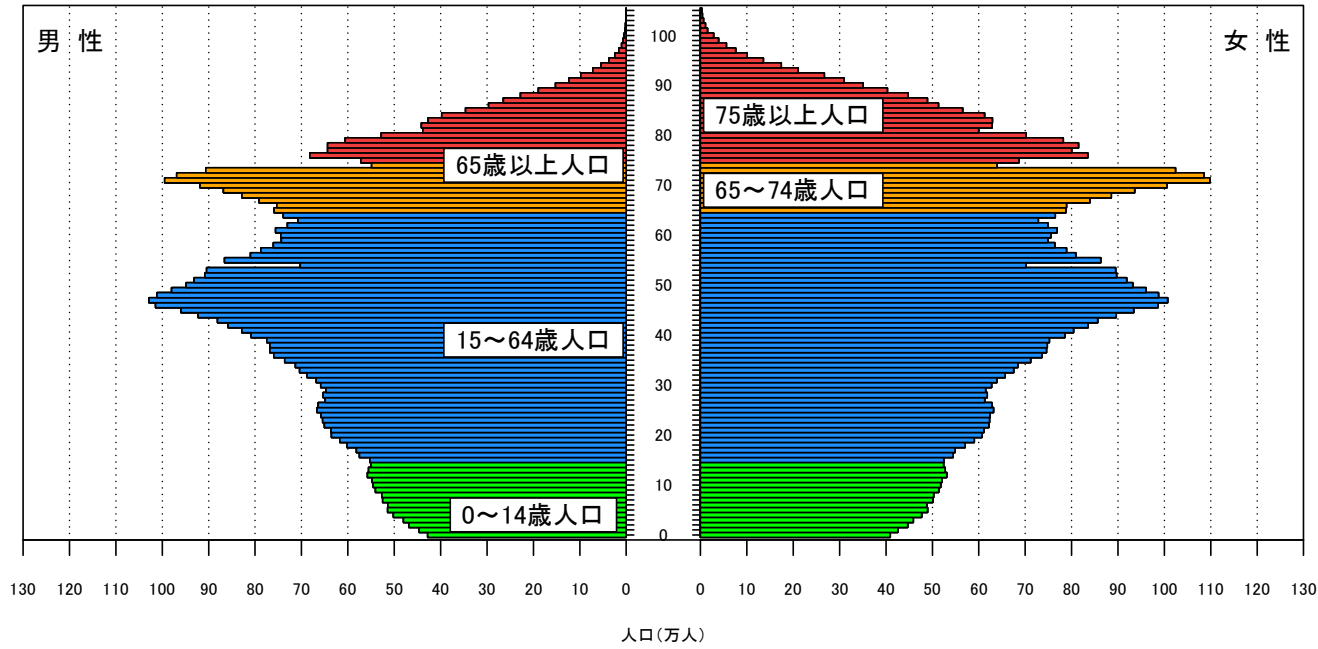
緊急時の子どもの世話 日本：子の親・祖父母に集中

小学校入学前の育児、突然の用事のために子供の世話をすることができないとき、世話する人（女性、有子）

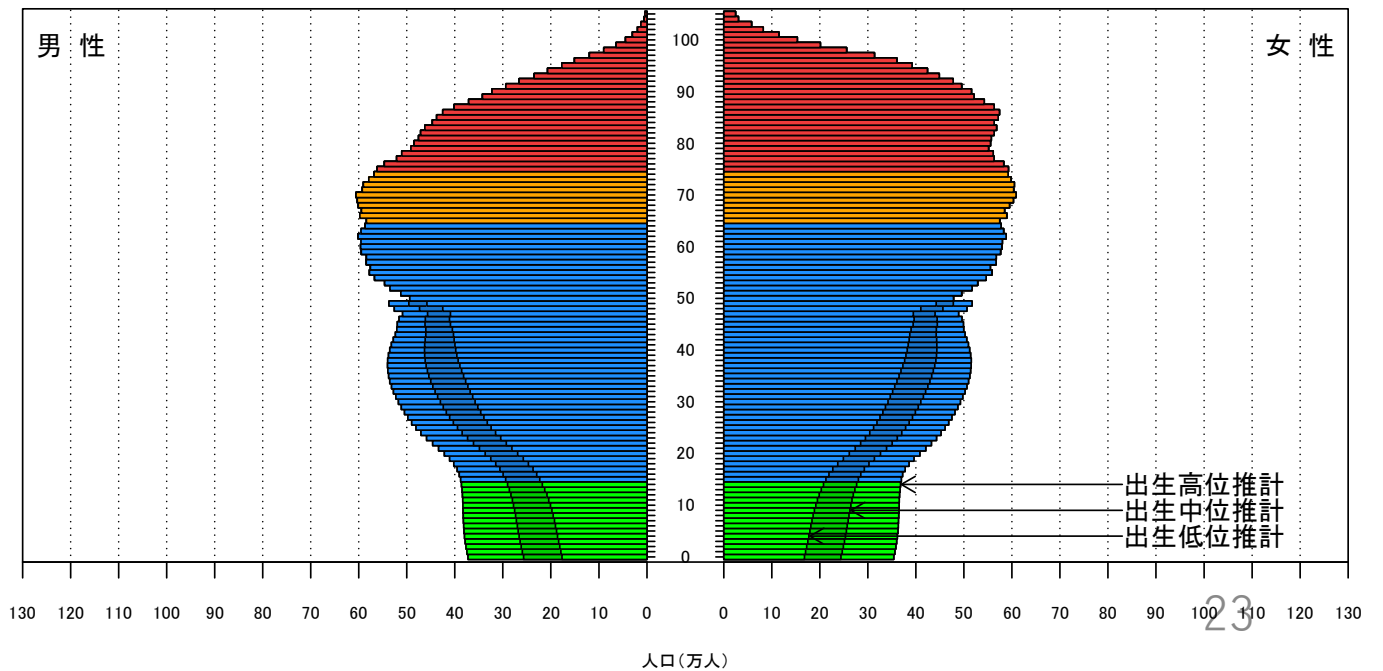


少子化の影響

(1) 令和2(2020)年



(3) 令和52(2070)年



「日本の将来推計人口（令和5年推計）」
国立社会保証・人口問題研究所(2023)

少子化の影響：高齢化と人口減少

- 労働人口の減少
 - 少ない子どもが後に労働市場に入り、労働力不足。
- マーケットの縮小
 - 家族形成期の需要減
 - 子ども、子育て世帯がマイノリティに。子ども関連サービス、産業の減少、その後、若者、中高年。
- 世代、親族関係に基づく支え合いの仕組みの困難
 - 年金制度
 - 親族のいない高齢者の増加、単身高齢世帯の増加
- 行政サービスにおける困難
 - 地方行政から進むが、首都圏では変化の規模が大きい。
- 政治的パワーが高齢に偏る

少子化の影響：高齢化と人口減少

- 他方で、プラス面、ポテンシャルも
- 人的資本の蓄積
 - 高齢者のさらなる高学歴化、女性の高学歴化に余地
 - 少ない子どもへの資源の投入
- 機械化、自動化、AI化、医療・健康科学の進歩などにより、労働需要減に対応できる面も
- 外国からの労働者、移民の余地
 - 2070年の外国人割合の推計は、現在のOECD平均よりも低い
- 解消する環境問題も
- 過去の人口予測に基づく未来像はそのまま実現しなかったことも。未来については不確実性が高く、科学技術や人々の対応力に期待できる面もある。

少子化の要因、影響：まとめ

- 高度経済成長後の低成長の中で、自由や個人の価値観を重視する考え方が普及。
- 結婚年齢が上昇、または非婚化が進み、予定していた子ども数に達成しない人が増加（不妊治療のニーズ）。
- 社会活動（教育、就労）では男女平等が進む中で、家庭内では平等が未達成。女性に子育て負担が偏り少子化に。
- 男性の子育て役割が大きくなり、子育ての社会化が進むにつれて少子化は一部解消。
- しかし、日本を含む東アジアでは、男女平等の未達成や住宅難、競争的教育、家族形成の意欲の低下がみられる。
 - 日本は相対的に、仕事優先で、子育ての負担観が高く、支援先が少ない。
- 少子化は、労働市場、マーケット、社会保障、行政サービス、民主的意思決定に影響を与えるが、人的資本は高まるなどの面も。科学技術を含めて、将来の社会状況は不確実。

出生力に影響する社会対策

子育て支援策はその一部

人口政策に関するグローバル標準



1994年国際人口開発会議/カイロ会議

マクロ（人口ターゲット）からミクロ（人権・自己決定、平等）へ

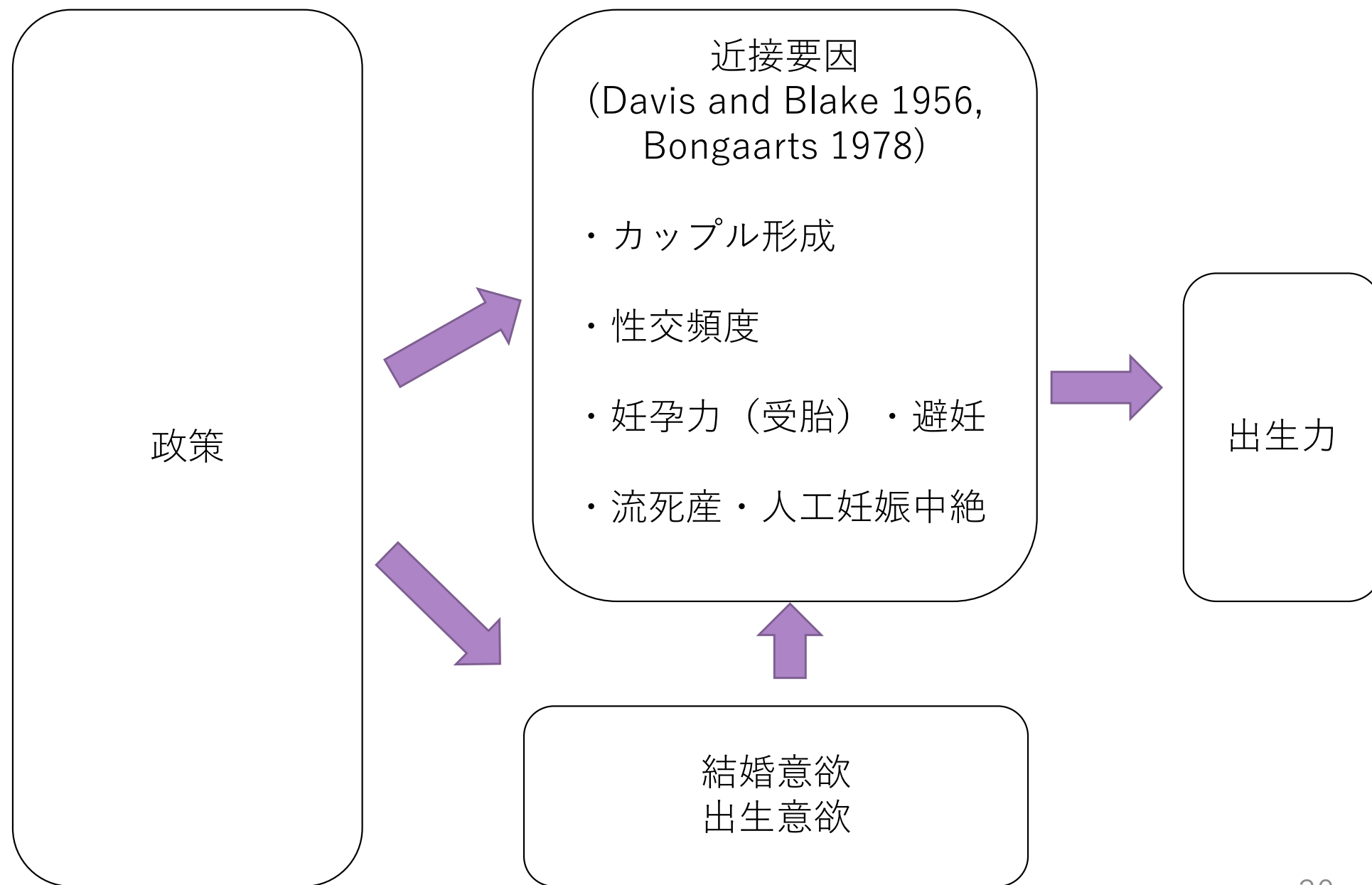
Population and Gender Equity (Sen 2001)

- 出生数を減らす、増やすための魔法の手段は無い。
 - × 強制不妊手術、中絶の禁止、無子税／出産祝い金（倫理的に問題か効果がない）
- 強制、脅迫ではなく自由と正義が有効

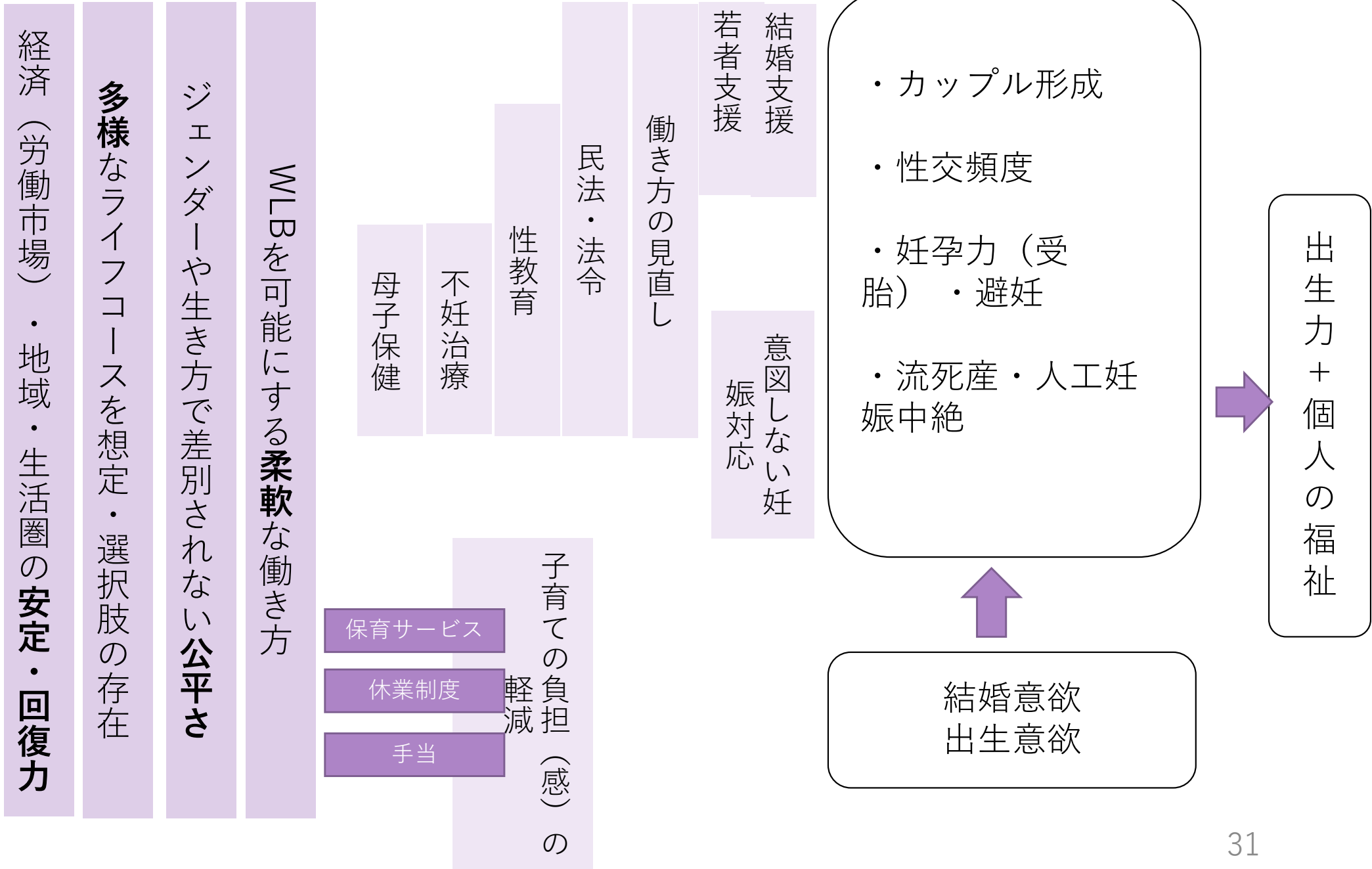
出生力に影響を与える政策領域

※子育て支援策に限らず

ミクロなアプローチはどのように実現されるのか？ 出生力の近接要因に着目

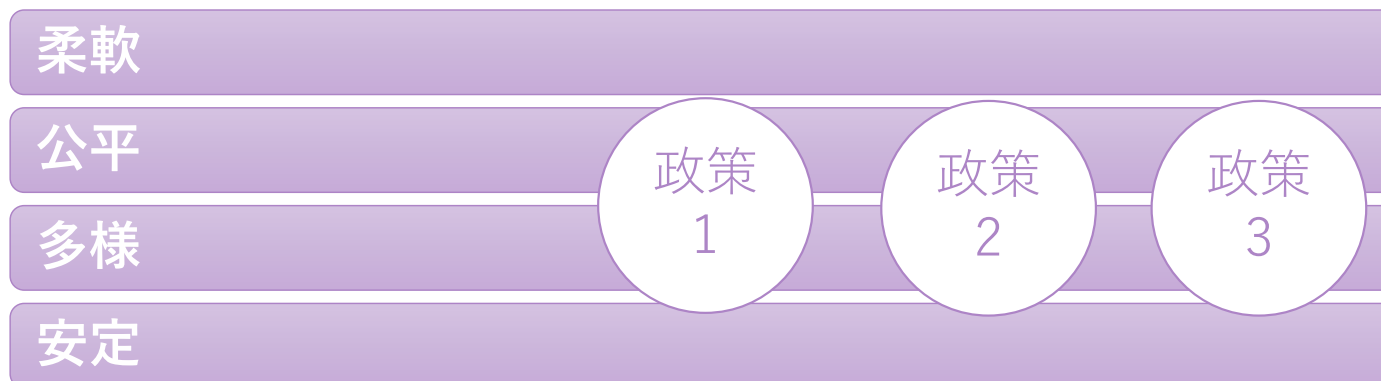


出生力の近接要因に影響する諸施策（出生促進とは限らない） と正の効果が期待される基本姿勢

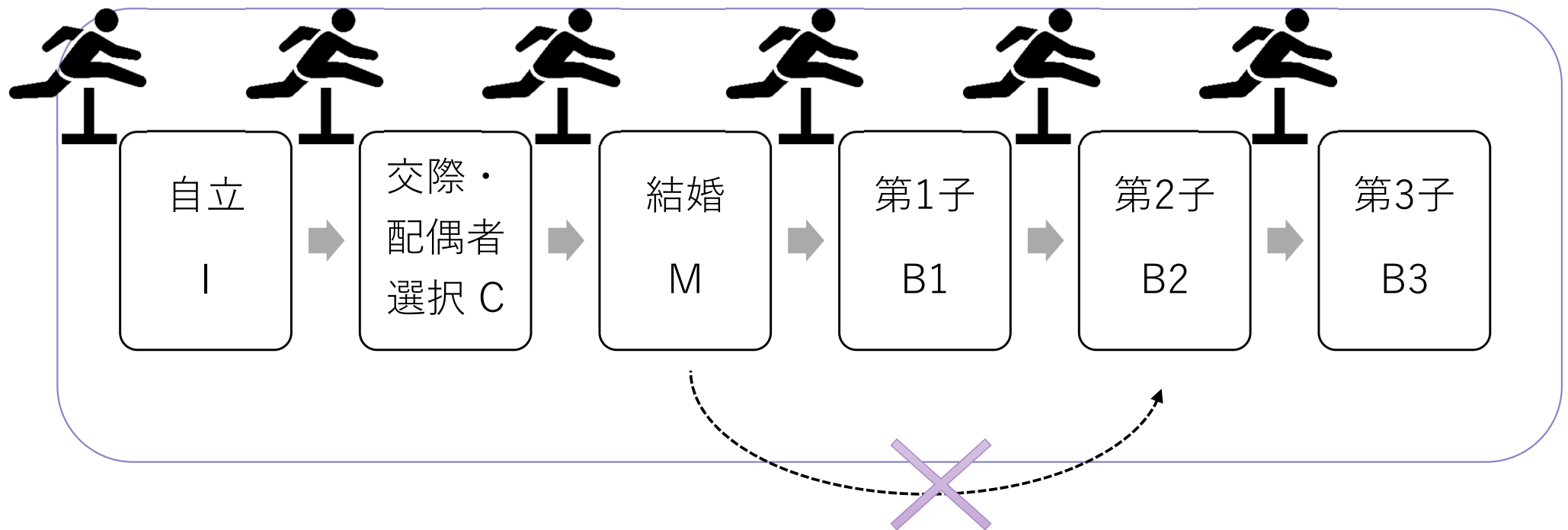


出生力に影響する政策領域

- 「子育て支援策」は出生力に影響を与え得る広範な政策群の一部。
- 結婚意欲や出生意欲を促進する（減退させない）子育て支援のみならず、パートナー関係、妊孕力や流死産、人工妊娠中絶に影響する政策があり得る。
- 各政策の出生力に対する影響は、相殺される場合や意図しない結果をもたらす場合も
 - e.g. 手当 → 就業インセンティブを低下 → 所得の低下
 - e.g. 数年後の制度改正予告 → 制度改正を待ち出生先送り
 - e.g. 育児休業の延長化が出生間隔をあける結果に
- 国際的コンセンサスとしても経験的にも、柔軟性、公平、多様さ、安定の姿勢が通底されると出生力に対する正の効果が期待。



対策の効果は見えづらく、効果がでるのには
時間がかかる
なぜなら、出生過程はシーケンスだから



年次→

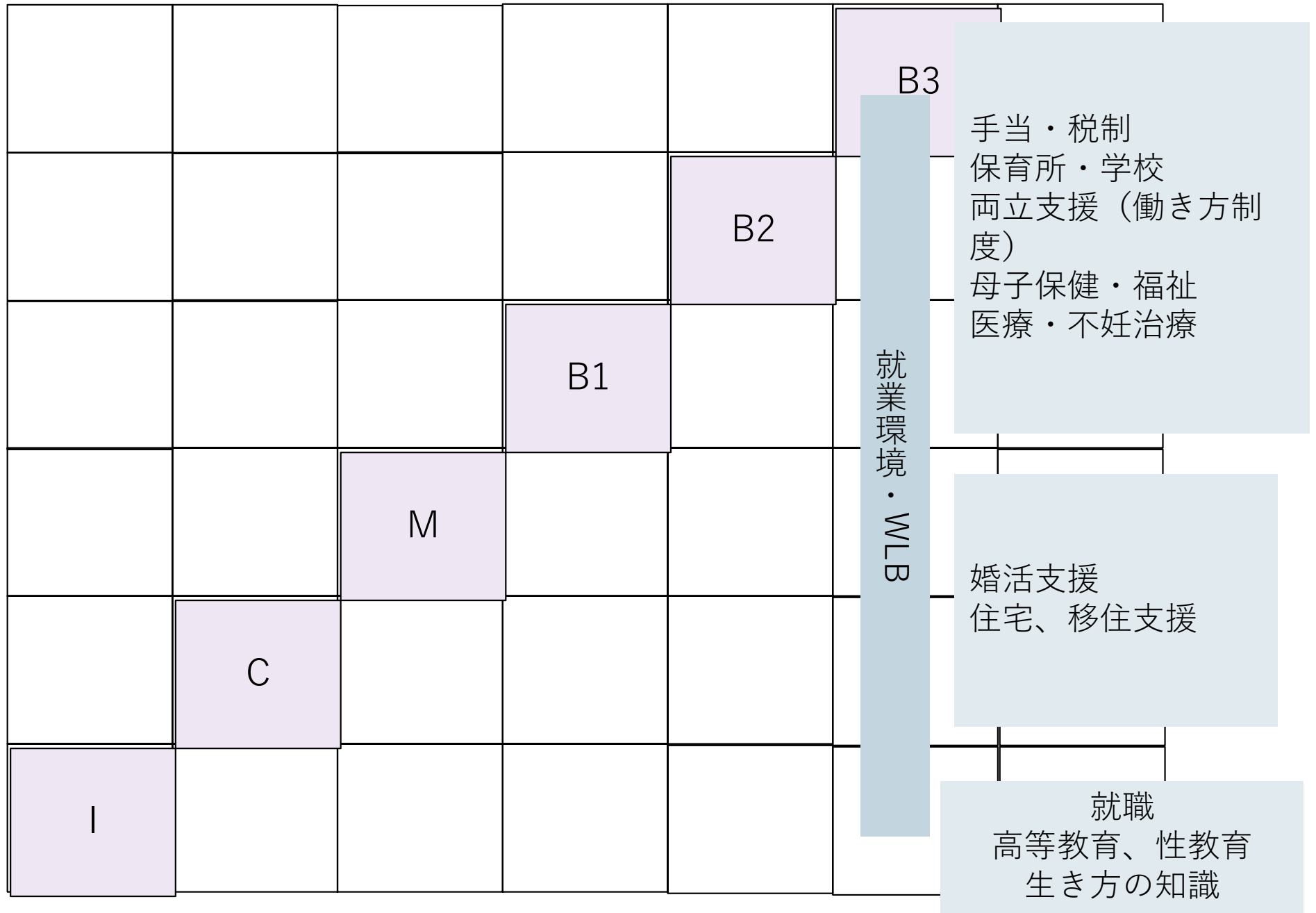
↑
年齢

B3	B3	B3	B3	多子支援	B3	B3
B2	B2	B2	B2	B2	B2	B2
B1	B1	B1	B1	B1	B1	B1
M	M	M	M	M		
C	C	C	C	C		
I	I	I	I	I		

個人は20年ほどかけて
(20歳~40歳)、結婚
過程、出生仮定を進む。
どこかで躓くと、支援
領域に届かない

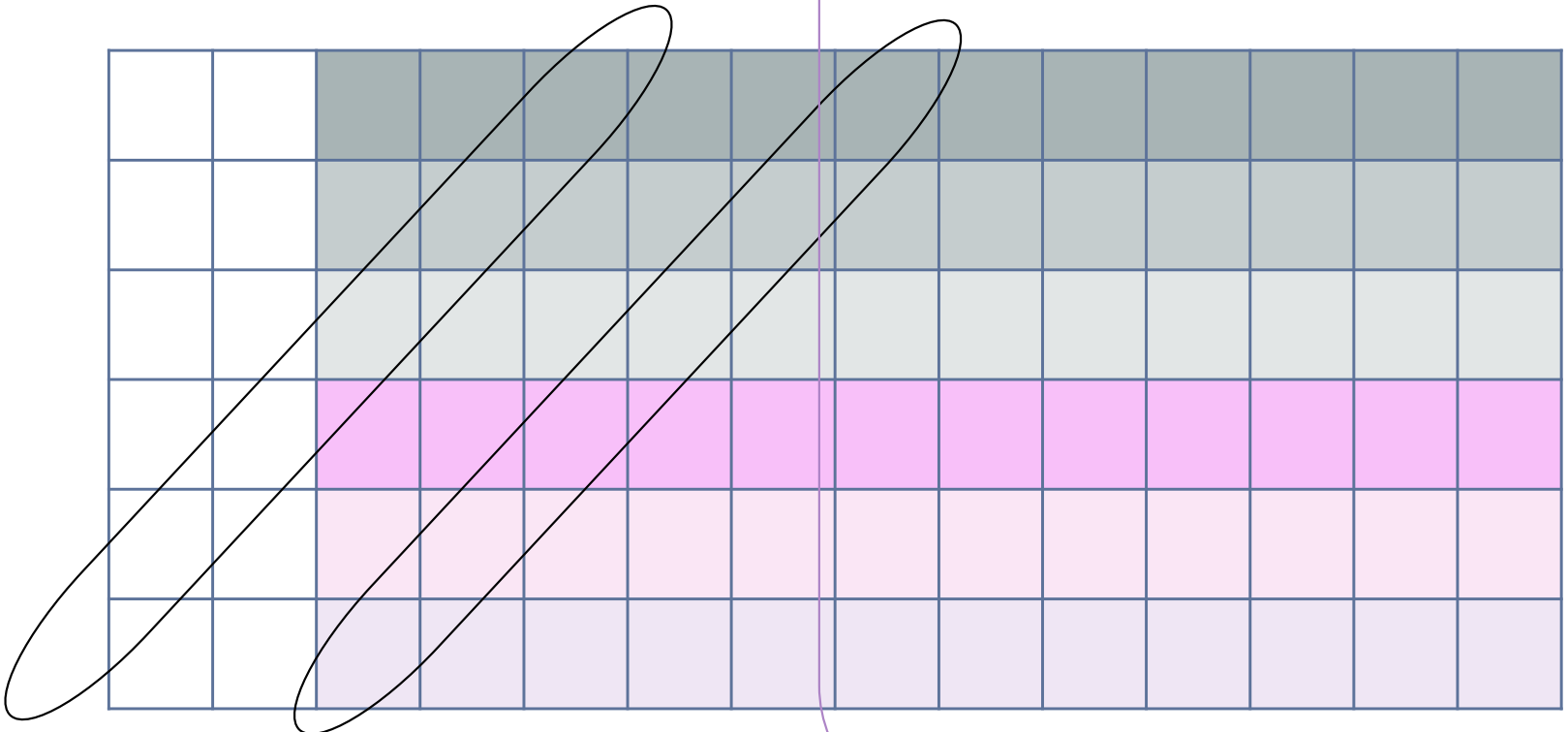
年次→

↑
年齢



25年要する

全世代で支援の効果

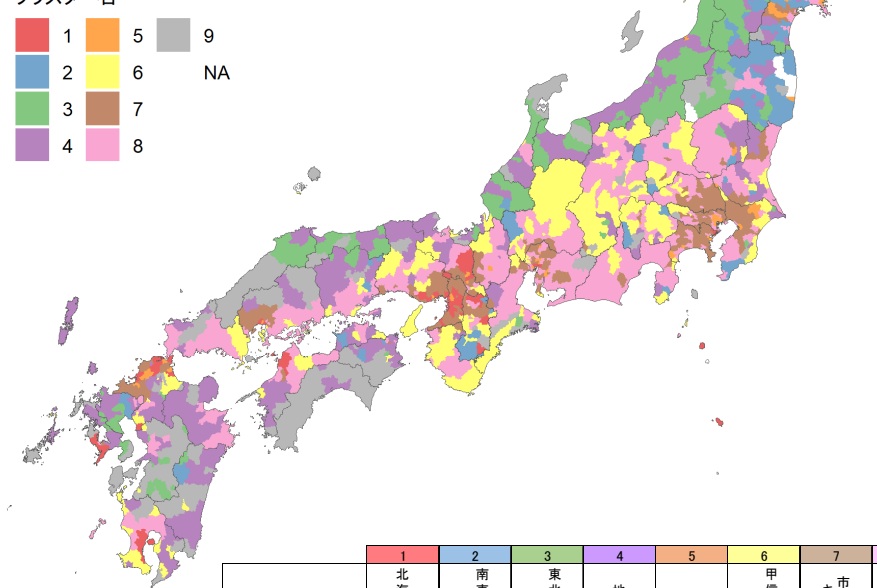
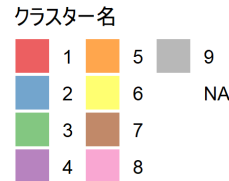
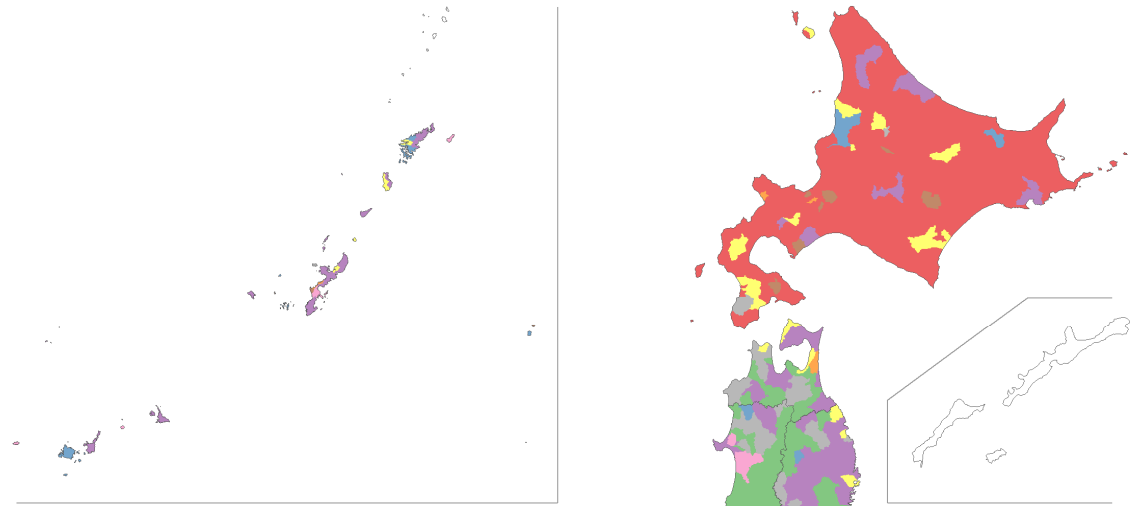


↑
包括的支援策導入

包括的支援が導入されても、全世代がそれを享受できるのは20年後
長期的な視野で取り組むべき

地域の子育て環境の多様性

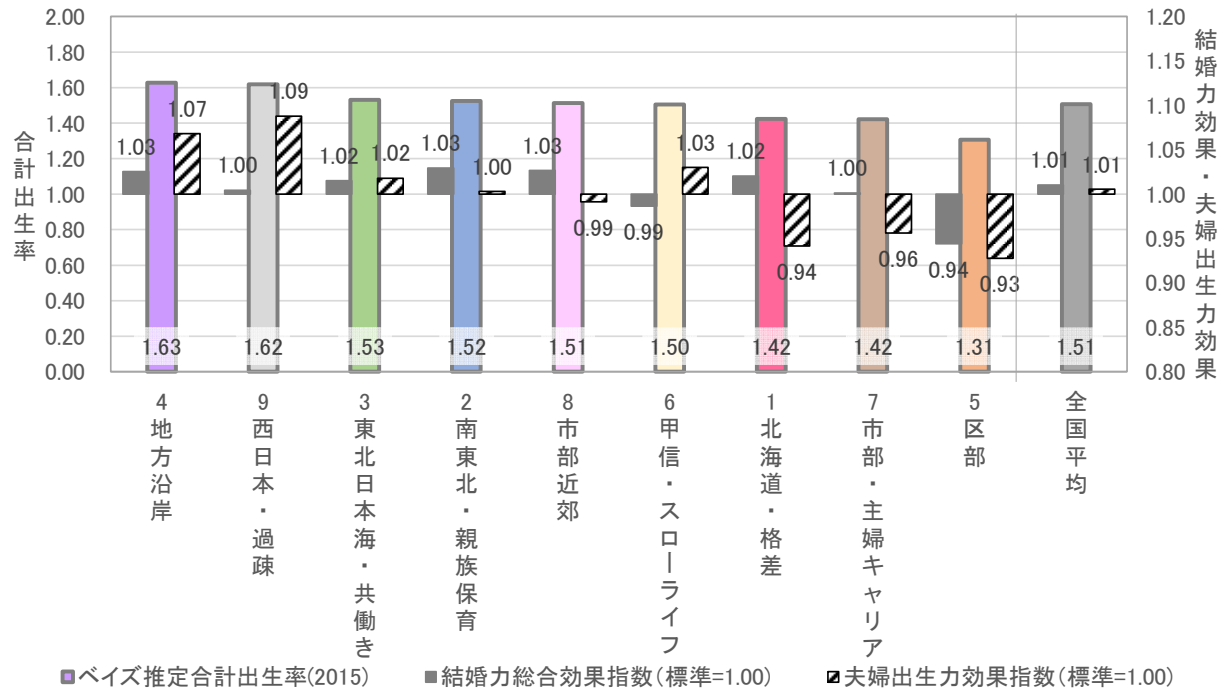
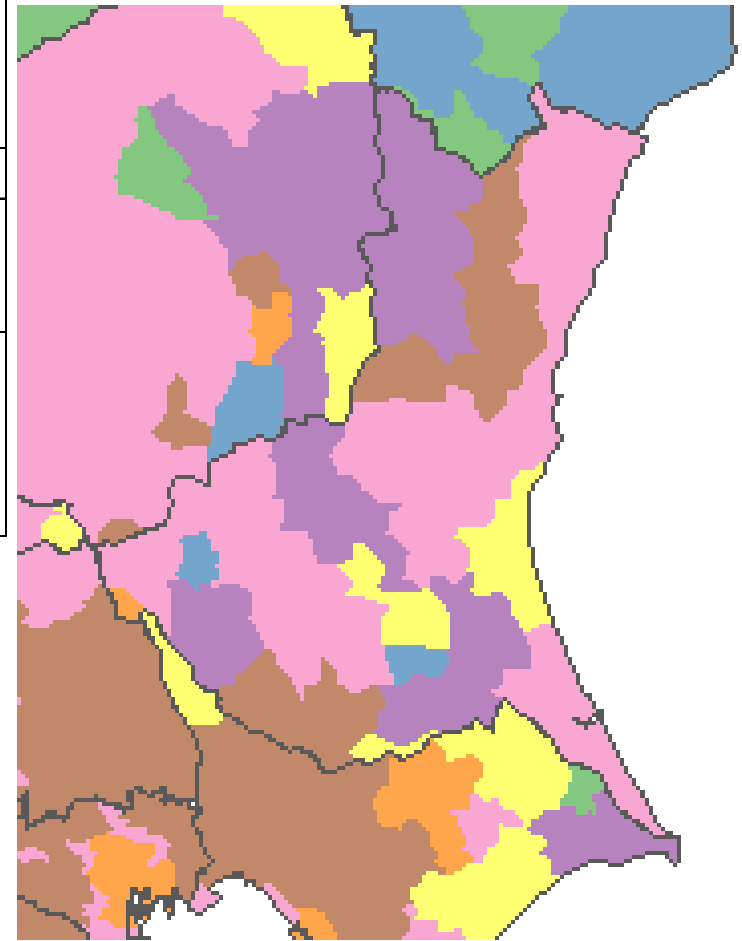
15の社会経済変数で1,843(2018年時点)の自治体を特徴が似ている9つのクラスターに分類



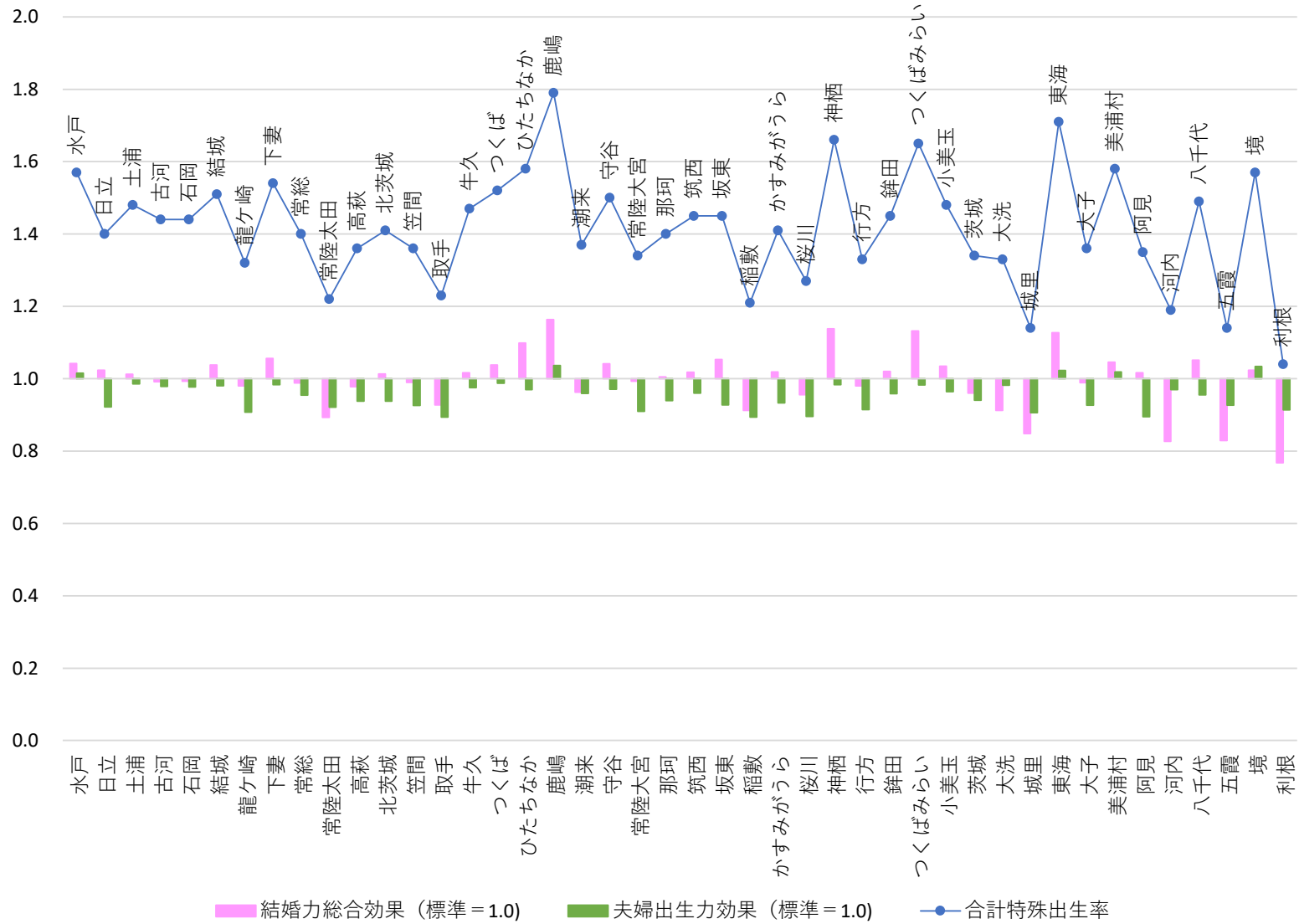
		市区町村数	
説明変数	人口レジーム	高齢化・人口減少	15~49歳女性人口(2015)(千人)
			人口密度(対数)(2015)
			高齢化率(2015)(%)
		流入超過率(2015)	
		ジェンダー公平	25~49歳男女労働力率比(男性=1)(2015)
	就業者数うち「家事のほか仕事」割合(%) (有配偶女性35~39歳)(2005)		
	30~39歳女性の大卒者割合(2010)		
	30~39歳大卒者割合の男女比(男性=1)(2010)		
	家族システム	三世代世帯割合(%) (2015)	
	子育て環境	経済状況	物価調整平均課税所得(2015)
生活保護被保護率(0~17歳人口千対)(2015)			
WLB・休業制度		男性週間就業時間(2005)	
		女性週間就業時間(2005)	
保育サービス		25~39歳有配偶女性休業割合(2005)	
	0~6歳児保育所利用割合(2015)		
		待機児童率(2015)	

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
クラスター名	北海道・格差	南東北・保育・親族	東北日本海・共働き	地方沿岸	区部	甲信・スローライフ	市部・主婦キャリア	市部近郊	西日本・過疎
主な地域	北海道	南東北	日本海東北	日本海西側	区部	東山・各地	区部近郊	市部近郊	西日本
市区町村の例	大阪堺市、鹿児島市、愛媛松山市	福島いわき市、福島市、佐賀市	島根出雲市、山形鶴岡市、岩手一関市	新潟市、富山県、那覇市	東京江東区、東京品川区、東京新宿区	千葉野田市、東京青梅市、山口岩国市	さいたま市、東京世田谷区、東京練馬区	静岡浜松市、熊本市、岡山市	熊本八代市、福島会津若松市、熊本天草市
クラスターの特徴	長時間労働・片働き・生活保護高	低保育サービス・三世代	共働き・配偶者・有	標準的	区部・高学歴・専業主婦	非長時間労働	主婦・待機・キャリア・育児共	市部近郊・主婦・専業主	高齢・共働き・保

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
クラスター名	北海道・格差	南東北・親族保育	東北日本海・共働き	地方沿岸	区部	甲信・スローライフ	市部・主婦キャリア	市部近郊	西日本・過疎
主な地域	北海道	南東北	日本海東北	日本海西南	区部	東山・各地	区部近郊	市部近郊	西日本
市区町村の例	大阪堺市、鹿児島市、愛媛松山市	福島いわき市、福島市、佐賀市	島根出雲市、山形鶴岡市、岩手一関市	新潟市、富山市、宮崎市、那覇市	東京江東区、東京品川区、東京新宿区	千葉野田市、東京青梅市、山口岩国市	さいたま市、東京世田谷区、東京練馬区	静岡浜松市、熊本市、岡山市	熊本八代市、福島会津若松市、熊本天草市
クラスターの特徴	長時間労働・片働き・生活保護率高	低保育サービス・三世代	共働き・育児・有配偶	標準的	区部・高学歴・専業主婦	非長時間労働	主婦・待機児童・育児共	市部近郊・専業主婦	高齢・共働き・保育園

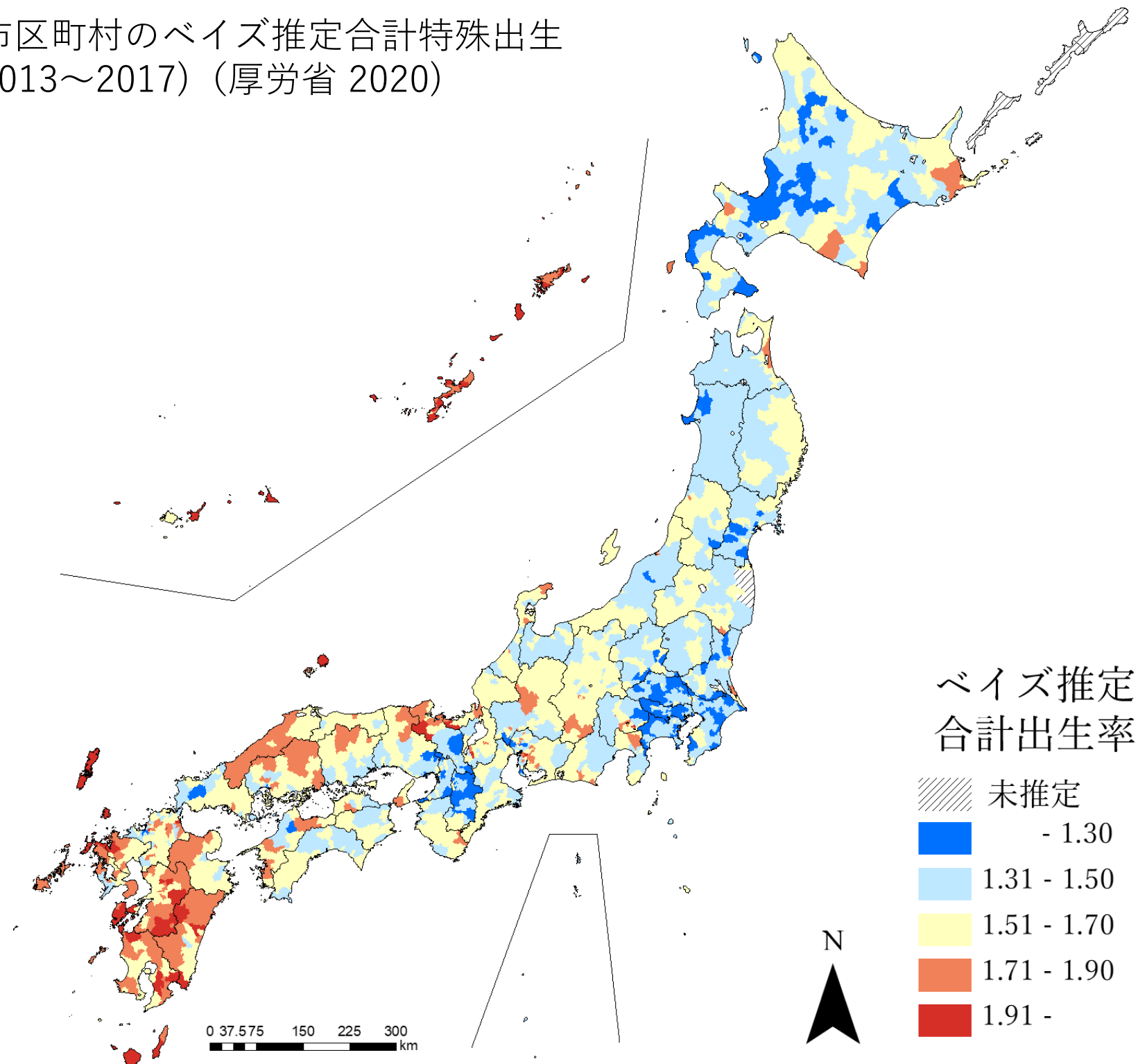


茨城県内市町村の合計特殊出生率、結婚力指数、夫婦出生力指数

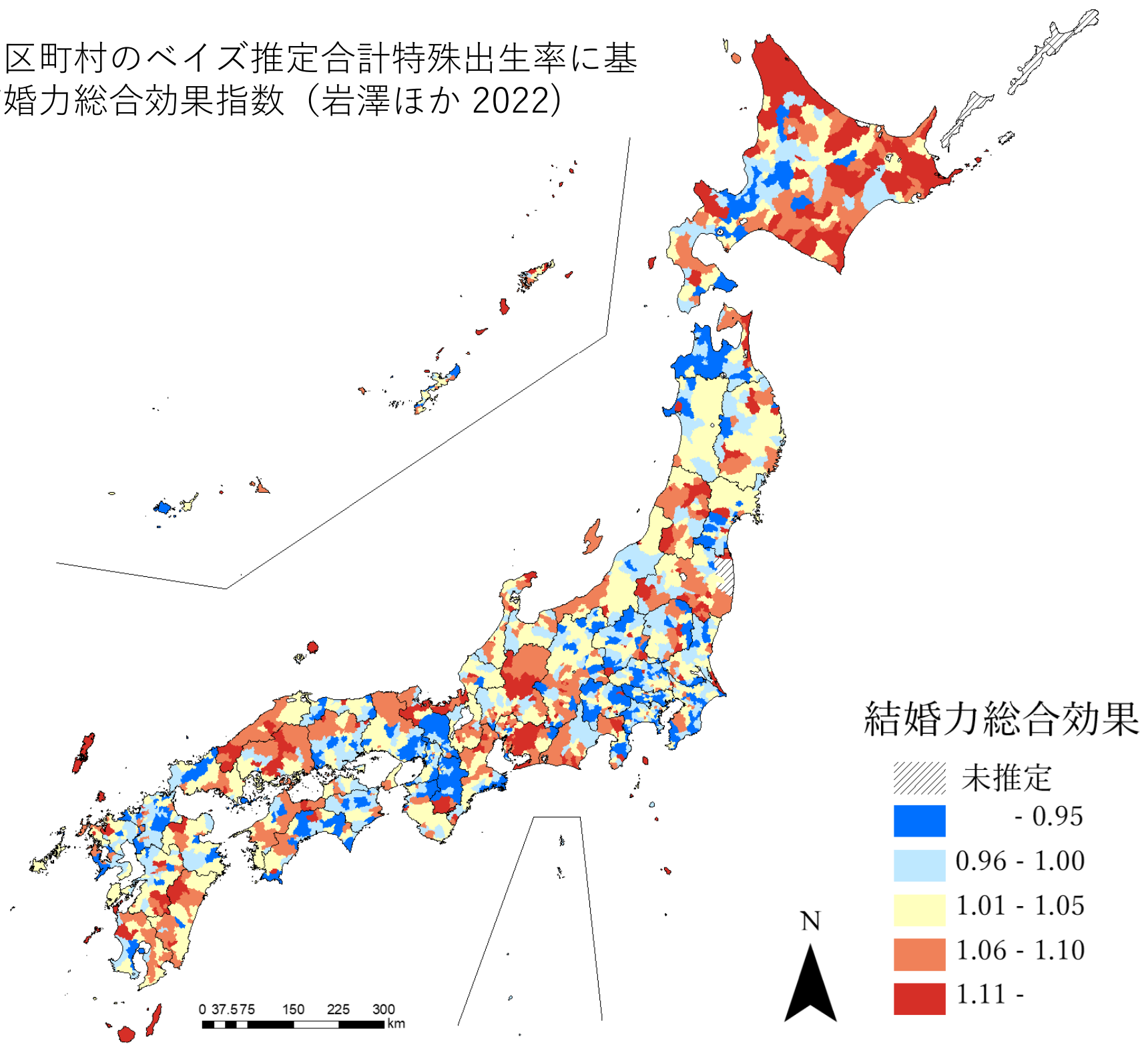


岩澤美帆, 菅桂太, 鎌田健司, 余田翔平, 金子隆一(2022)「出生力の地域差に対する結婚力効果と夫婦出生力効果—対数線形モデルを利用した市区町村別合計出生率の分解—」『人口問題研究』, 第78巻第1号, pp.78-105.

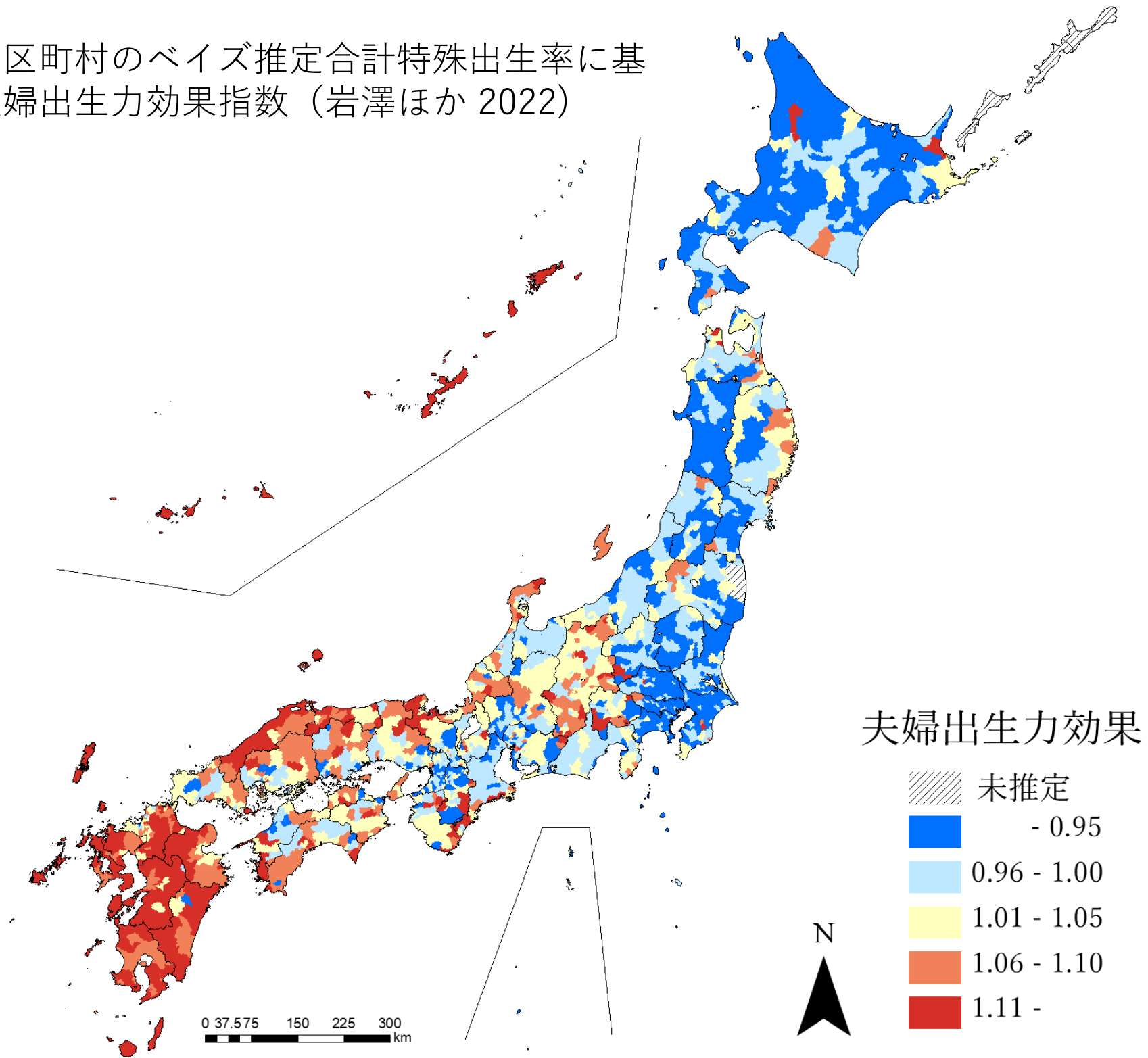
全国市区町村のベイズ推定合計特殊出生率 (2013~2017) (厚労省 2020)



全国市区町村のベイズ推定合計特殊出生率に基づく結婚力総合効果指数（岩澤ほか 2022）



全国市区町村のベイズ推定合計特殊出生率に基づく夫婦出生力効果指数（岩澤ほか 2022）



出生力に影響を与える政策：まとめ

- 様々な政策が出生力に影響を与える。結婚支援、子育て支援策はその一部。
- グローバル標準では、人口政策においては個人の人権、自己決定、平等を重視すべきであり、強制、脅迫にしない。
- 個々の政策の背後に、柔軟な働き方、ジェンダーや生き方に対する公平さ、多様な生き方、選択肢の保持、経済・生活圏の安定と回復力があることが、出生力にプラスに影響し、個人の福祉を高める。
- 結婚や出産は個人にとっては20年にわたる経験。高順位出生までの各段階での障害を取り除き、切れ目ない支援を用意することが重要。全世代が生涯を通じてその支援を得られるのは20年後。長期的な取り組みであるとの認識が必要。
- 地域ごとに社会経済や人口・家族のあり方が異なる。地域特性の近い自治体の取り組みなどが参考になる。

(参考) クラスタ分析に用いた社会経済変数および出生力指標：茨城県

変数内容		結果変数	結果変数	結果変数	説明変数	説明変数	説明変数	説明変数4	説明変数5	説明変数6	説明変数7	説明変数8	説明変数9	説明変数10	説明変数	説明変数	説明変数13	説明変数	説明変数	クラスター	
コード	市区町村	ベイズ推定合計出生率	結婚力総合効果	夫婦出生力効果	ln人口密度 (2015)	65歳以上割合 (2015)	流入超過率 (%) (2015)	25-49歳男女労働力率比 (男性=1)(2015)	就業者にしめる「家事のほか仕事」割合 (%) (有配偶女性35~39歳) (2005)	30-39歳女性大卒割合 (2010)	30-39歳大卒割合男女比 (2010)	国調 (二人以上一般世帯に占める三世帯世帯割合) (2015)	所得税・消費者物価指数 (2015)	生活保護被保護率 (人口1000対) 0-17歳 (2015)	国調 (平均習慣時間) (2005)	国調 (平均習慣時間) (2005)	有配偶女性就業者に占める休業者割合25~39歳 (2005)	保育所等を利用している者 (0-6歳保育所利用割合) (2015)	申し込み者に占める待機児童 (2015)	クラスター番号	
	全国	1.430	1.000	0.964	5.83	26.64	0.00	0.79		49.23	0.19	0.62	8.66	32.88	12.92	45.70	34.90	7.70	33.58	0.94	
8201	水戸市	1.570	1.042	1.015	7.128	25.12	11.35	0.763		48.017	0.190	0.602	7.363	3.518	5.12	45.70	34.30	8.578	27.0	3.473	8
8202	日立市	1.400	1.023	0.922	6.709	29.47	7.40	0.714		54.290	0.138	0.524	7.056	3.491	5.12	45.00	33.70	7.306	21.5	0.963	8
8203	土浦市	1.480	1.012	0.985	7.044	26.80	9.89	0.793		48.167	0.177	0.626	10.184	3.478	5.12	44.95	35.10	6.947	25.2	0.000	8
8204	古河市	1.440	0.991	0.979	7.039	25.61	-6.55	0.795		54.216	0.102	0.532	14.318	3.375	5.12	45.50	35.10	6.578	28.4	0.367	8
8205	岡崎市	1.440	0.993	0.977	5.866	29.62	-8.35	0.827		44.672	0.116	0.576	17.686	3.363	5.12	44.70	35.60	7.140	41.5	0.000	4
8207	結城市	1.510	1.038	0.981	6.665	27.52	-6.81	0.815		46.438	0.096	0.504	17.845	3.351	5.12	45.50	35.50	5.661	39.0	0.000	8
8208	龍ヶ崎市	1.320	0.980	0.908	6.905	24.90	-11.67	0.795		55.916	0.159	0.553	8.808	3.471	5.12	44.30	32.60	6.414	32.4	0.000	7
8210	下妻市	1.540	1.056	0.983	6.283	25.46	-1.46	0.820		38.911	0.102	0.589	20.421	3.339	5.12	44.70	36.20	7.630	30.9	3.351	8
8211	常総市	1.400	0.989	0.955	6.209	27.69	4.05	0.830		39.326	0.093	0.574	23.881	3.336	5.12	45.00	36.65	8.388	32.3	0.389	4
8212	常陸太田市	1.220	0.893	0.921	4.946	33.99	-16.48	0.807		48.116	0.119	0.662	12.597	3.367	5.12	42.70	33.70	5.813	37.2	0.000	7
8214	高萩市	1.360	0.978	0.938	5.031	30.64	-6.84	0.772		51.940	0.109	0.526	9.011	3.326	5.12	44.10	34.00	5.472	28.9	0.000	8
8215	北茨城市	1.410	1.013	0.938	5.471	30.05	-8.33	0.781		47.530	0.084	0.598	12.146	3.344	5.12	44.10	34.30	5.837	26.3	0.000	8
8216	笠間市	1.360	0.990	0.926	5.766	28.42	-10.41	0.813		46.746	0.120	0.600	14.480	3.331	5.12	44.40	35.10	6.209	29.2	0.085	8
8217	取手市	1.230	0.928	0.894	7.329	31.40	-12.93	0.800		50.510	0.215	0.606	7.402	3.452	5.12	44.10	33.10	7.001	32.8	0.245	7
8219	牛久市	1.470	1.016	0.975	7.266	26.19	-15.10	0.787		52.529	0.221	0.608	7.102	3.533	5.12	44.20	32.90	7.416	30.3	0.000	7
8220	つくば市	1.520	1.038	0.987	6.685	19.16	7.58	0.779		43.581	0.299	0.738	11.126	3.690	5.12	44.10	33.70	8.925	31.8	2.009	8
8221	ひたちなか市	1.580	1.099	0.969	7.351	23.90	-3.47	0.744		52.401	0.158	0.554	8.690	3.509	5.12	45.80	33.60	7.488	27.5	0.000	8
8222	鹿嶋市	1.790	1.164	1.037	6.462	27.75	6.66	0.750		51.541	0.110	0.626	11.594	3.450	5.12	44.10	34.40	6.217	39.9	0.000	8
8223	潮来市	1.370	0.963	0.959	6.011	28.60	-14.03	0.799		44.686	0.087	0.542	18.466	3.354	5.12	44.30	35.60	6.949	36.9	0.000	8
8224	守谷市	1.500	1.041	0.971	7.503	19.63	-17.20	0.764		54.197	0.265	0.571	6.624	3.642	5.12	45.40	32.60	9.602	25.4	0.316	7
8225	常陸大宮市	1.340	0.993	0.909	4.806	33.27	-5.55	0.826		41.455	0.093	0.589	13.251	3.295	5.12	43.30	34.90	6.757	48.4	0.000	4
8226	那珂市	1.400	1.005	0.939	6.319	29.10	-13.27	0.800		47.301	0.133	0.639	10.439	3.378	5.12	44.00	33.80	8.330	26.9	0.000	7

ベイズ推定出生率は厚生労働省（政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室）（2020）「平成25年～平成29年人口動態保健所・市区町村別統計」（2020.7.31）による。

結婚力総合効果、夫婦出生力効果は岩澤美帆ほか(2022)「出生力の地域差に対する結婚力効果と夫婦出生力効果－対数線形モデルを利用した市区町村別合計出生率の分解－」『人口問題研究』第78巻第1号,pp.78-105.

コード	市区町村	ベイズ 推定合 計出生 率	結婚力 総合効 果	夫婦出 生力効 果	ln人口 密度 (2015)	65歳以 上割合 (2015)	流入超 過率 (%) (2015)	25-49歳男女 労働力率比 (男性 =1)(2015)	就業者にしめる「家事 のほか仕事」割合(%) (有配偶女性35~39 歳)(2005)	30-39歳女 性大卒割 合(2010)	30-39歳大 卒割合男 女比 (2010)	三世代世帯割合 (2015)	消費者物価 指数調整課 税所得 (2015)	生活保護被保 護率(0-17 歳)(2015)	男性週 間就業 時間 (2005)	女性週 間就業 時間 (2005)	25~39歳有配 偶女性休業割 合(2005)	0-6歳保 育所利 用割合 (2015)	待機児 童 (2015)	クラス ター番 号
8227	筑西市	1.450	1.018	0.960	6.233	27.99	-4.40	0.827	44.479	0.096	0.567	21.686	3.334	5.12	45.00	35.90	6.474	37.5	0.000	8
8228	坂東市	1.450	1.053	0.928	6.086	26.74	-6.36	0.831	40.714	0.068	0.599	26.806	3.293	5.12	45.40	37.00	5.552	37.2	0.000	4
8229	稲敷市	1.210	0.912	0.894	5.338	31.73	-5.75	0.839	43.942	0.076	0.608	23.717	3.288	5.12	43.90	36.20	4.737	35.6	0.168	4
8230	かすみがうら	1.410	1.019	0.933	5.595	27.79	-14.52	0.807	47.973	0.122	0.569	16.972	3.392	5.12	45.00	35.50	5.934	45.3	0.000	6
8231	桜川市	1.270	0.956	0.896	5.467	29.60	-10.01	0.852	43.556	0.102	0.671	25.689	3.309	5.12	44.20	36.00	5.260	37.7	0.000	4
8232	神栖市	1.660	1.138	0.984	6.467	20.77	5.74	0.757	50.037	0.080	0.509	13.730	3.488	5.12	45.60	35.60	6.337	42.7	0.407	8
8233	行方市	1.330	0.980	0.915	5.056	31.53	-8.69	0.854	37.868	0.086	0.708	30.086	3.308	5.12	45.10	38.90	3.631	40.6	0.000	4
8234	鉾田市	1.450	1.020	0.958	5.446	30.32	-8.39	0.844	45.494	0.075	0.555	22.632	3.304	5.12	45.80	39.00	3.458	44.3	0.000	6
8235	つくばみらい	1.650	1.132	0.982	6.431	24.65	-13.36	0.756	45.365	0.208	0.592	13.900	3.489	5.12	43.80	33.95	7.655	27.5	0.778	7
8236	小美玉市	1.480	1.035	0.964	5.863	26.45	-2.57	0.808	46.592	0.101	0.652	16.557	3.367	5.12	44.90	35.87	5.740	37.2	0.000	8
8302	茨城町	1.340	0.960	0.941	5.601	30.85	-7.94	0.835	50.895	0.106	0.658	17.244	3.314	5.12	45.00	35.80	4.646	39.0	0.000	8
8309	大洗町	1.330	0.913	0.982	6.567	30.72	0.54	0.843	51.230	0.110	0.569	12.946	3.302	5.12	44.70	36.00	6.574	50.5	0.000	6
8310	城里町	1.140	0.848	0.906	4.807	31.64	-24.10	0.838	45.779	0.097	0.786	15.137	3.271	5.12	44.20	34.60	3.968	38.4	0.000	7
8341	東海村	1.710	1.127	1.023	6.901	24.03	-0.98	0.709	47.047	0.191	0.544	8.052	3.541	5.12	44.40	34.00	7.341	27.7	3.030	8
8364	大子町	1.360	0.989	0.927	4.015	40.42	-5.91	0.878	36.882	0.075	0.714	18.900	3.173	5.12	43.10	36.60	6.257	50.1	0.000	4
8442	美浦村	1.580	1.046	1.018	5.471	27.03	-6.32	0.735	43.860	0.096	0.543	14.883	3.458	5.12	44.70	34.40	5.535	22.1	0.000	2
8443	阿見町	1.350	1.016	0.895	6.501	25.44	-6.75	0.796	47.020	0.156	0.634	11.392	3.430	5.12	44.00	33.60	7.410	33.3	0.000	8
8447	河内町	1.190	0.827	0.970	5.333	34.32	-22.45	0.836	45.251	0.076	0.591	26.848	3.280	5.12	42.90	35.10	6.748	44.9	0.000	6
8521	八千代町	1.490	1.051	0.955	5.922	26.56	-10.35	0.823	37.356	0.069	0.804	35.061	3.300	5.12	44.70	37.40	4.649	33.8	0.000	2
8542	五霞町	1.140	0.829	0.927	5.941	27.68	39.13	0.829	57.353	0.085	0.651	21.498	3.422	5.12	43.90	33.60	2.718	35.8	0.000	5
8546	境町	1.570	1.023	1.034	6.266	26.37	-1.58	0.821	47.462	0.070	0.518	24.130	3.322	5.12	45.90	36.80	5.687	33.1	0.000	8
8564	利根町	1.040	0.767	0.914	6.485	39.32	-25.38	0.848	55.782	0.156	0.661	11.595	3.316	5.12	42.50	32.50	5.013	35.6	0.000	7